

東村山 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科： 国語 科目： 文学国語										
教科： 国語		科 目： 文学国語		単位数： 4 単位						
対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 6 組										
教科担当者： （1組：布施野） （2組：持田） （3組：布施野） （4組：持田） （5組：布施野） （6組：持田）										
使用教科書： （ 第一学習者『文学国語』）										
教科 国語 の目標：										
【 知 識 及 び 技 能 】		生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。								
【思考力、判断力、表現力等】		生涯にわたる社会生活における他者とのかかわりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。								
【学びに向かう力、人間性等】		言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。								
科目 文学国語 の目標：										
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】			【学びに向かう力、人間性等】					
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。		深く共感したり、豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。			言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。					

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数	
			国語	書	読						
1 学 期	・少年との交流による私の心理の変化と、デュークをの死を受け入れるまでの過程を読み取る。 ・時間の経過とともに登場人物の心情と行動に生じる変化を追ひ、題名にこめられた意味を考える。	デューク（江國香織） 相棒（内海陸一郎）			○	【知識・技能】 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉えているか。	○	○	○	16	
	・詩の中の自然の描かれ方に注目し、いもうととわたくし、それぞれの心情を想像しながら味わう。	永訣の朝（宮沢賢治）	○		○	【主体性】 ・象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情などを理解しようとしている。	○	○	○	17	
	定期考査						○	○			
	・場面が変わる文展開を把握し、各場面における登場人物の心情を読み取る。	ナイン（井上ひさし）			○	○	【思考・判断・表現】 ・二度と失ってはならないものとは何かについて、自分の意見を積極的に文章にまとめようとしている。	○	○	○	25
	・自身の体験を棚卸し、文章にする作文	「高校生活で頑張ったこと」			○	【思考・判断・表現】 ・自身の体験を分かりやすくまとめることができる。	○	○	○	16	
	定期考査						○	○			
2 学 期	・登場人物同士の関係や心情を把握しながら読み、僕の発言の背景にあるものを理解する。 ・短編小説の特色を理解し、ほんとの再開を繰り返すたびに実感される私の変化を読み取る。 ・汚れっちまった悲しみとは何か、詩中の表現をもとにして考え、詩の内容と韻律を深く味わう。	①バクダッドの靴磨き（米原万里） ②旅する本（角田光代） ③汚れっちまった悲しみに…（中原中也）	○	○	○	【知識・技能】 ・登場人物同士の関係や心情を理解しようとしているか。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにしようとしているか。 ・繰り返し音読をし、積極的に詩の構成やリズムを理解しようとしているか。	○	○	○	25	
	定期考査						○	○			
	・作品中の表現に注意しながら、私が幹生の見つめていたものに気が着くまでの心情の変化を把握する。 ・端末を効果的に使い、他者にとって分かりやすいプレゼンの仕方を学ぶ。	①ひよこの眼（山田詠美） ②鼻（芥川龍之介） ③プレゼン「好きなものの紹介」（ICT端末を使う）	○	○	○	【思考・判断・表現】 ・最後の段落の私の思いについて、自分の考えを積極的に文章にまとめようとしている。 ・他者の立場に立つてわかりやすいように、プレゼンをする。	○	○	○	25	
	定期考査						○	○			
3 学 期	・仕事に向き合う態度と友人への思いがどのように変化するかを捉え、主人公としての卒業の意味を考える。 ・文語詩に親しみ、多様な隠喩を通して、こころを描きだすイメージの豊かさを味わう。	①卒業（魚住直子） ②こころ（萩原朔太郎）			○	○	【主体性】 ・卒業という題名の意味について、自分の考えをまとめようとしている。 ・我が国の言語文化の特質について理解を深めようとしている。	○	○	○	16
	定期考査						○	○			
										合計	
										140	

東村山 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 現代文演習

教科：国語 科目：現代文演習 単位数：2 単位

東村山 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科：国語 科目：現代文演習

教科：国語 科目：現代文演習 単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組（選択者）

教科担当者：（武川）

使用教科書：（東京書籍『新編論理国語』）

教科 国語 の目標：		
【知 識 及 び 技 能】	現代社会を生きる上での必要な国語の一般常識（漢字・語彙・文学史など）を身に付ける。	
【思考力、判断力、表現力等】	入学試験、就職試験に向けて、表現力（文章を書く力、話す力など）を要請する。	
【学びに向かう力、人間性等】	言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言葉間隔を磨き、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図るに態度を養う。	
科目 現代文演習 の目標：		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代社会に必要な国語の一般常識や技能を身に付けるようにする。	現代の評論や小説を読む力を身に付け、ものの見方や感じ方、様々な視点からの広い考え方を身に付ける。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			国 語	書	読					
1 学 期	・漢字や語句、文学史の内容を習得させる。 ・指示語や接続語、比喩表現など読解の基礎を身につけさせる。	『国語常識』（基本編） 漢字の読み書き、対義語類義語、語のつながり、文学史 『リトルバード』（第1回～第4回）		○	○	・指示語や接続語、比喩表現について理解している。 ・漢字や語句を書き、練習して覚えている。 （小テスト・ワーク・プリントなど）	○	○	○	7
	・漢字や語句、文学史の内容を習得させる。 ・評論の読解方法を学び、演習で解答作成の手順を理解する。	『国語常識』（必修編） 漢字の読み書き、対義語類義語、慣用句、ことわざ、文学史 『リトルバード』（第5回～第8回）		○	○	・評論の読解方法を理解し、演習に生かしている。 ・漢字や語句を書き、練習して覚えている。 （小テスト・ワーク・プリントなど）	○	○	○	9
	・問題提起や文の構成などを把握しながら、筆者の主張を読み取る。 ・他者との学び合いの中で、答えに至るまでの、解き方考え方を学ぶ。	『国語常識』（標準編） 漢字の読み書き、対義語類義語、語のつながり、文学史 『リトルバード』（第9回～第12回）	○	○	○	・評論の読解方法を理解し、演習に生かしている。 ・漢字や語句を書き、練習して覚えている。 （小テスト・ワーク・プリントなど）	○	○	○	9
	・百字要約の書き方を理解させる。 ・漢字・語句を習得させる。	・要約の練習を行う。 ・今まで習ってきた漢字、語句の復習をする。		○	○	・漢字や語句を書き、練習して覚えている。 （小テスト・ワーク・プリントなど） ・要約の仕方を理解している。	○	○	○	7
2 学 期	・漢字や語句、文学史の内容を習得させる。 ・評論の読解方法を学び、演習で解答作成の手順を理解する。	『国語常識』（応用編） 漢字の読み書き、対義語類義語、文法、一般常識、文学史 『リトルバード』（第13回～第16回）		○	○	・評論の読解方法を理解し、演習に生かしている。 ・漢字や語句を書き、練習して覚えている。 （小テスト・ワーク・プリントなど）	○	○	○	15
	・原稿用紙の使い方などを習得させる。 ・評論の読解方法を学び、演習で解答作成の手順を理解する。	『国語常識』（表現編） 原稿用紙の使い方、自己PR、志望動機 『リトルバード』（第17回～第20回）		○	○	・評論の読解方法を理解し、演習に生かしている。 ・原稿用紙の使い方を理解し、志望動機などに生かしている。 （小テスト・ワーク・プリントなど）	○	○	○	15
3 学 期	・敬語の使い方を習得させる。 ・さまざまなジャンルの文章の演習を行い、解答作成の手順を理解する。	『国語常識』（対策編） 敬語、手紙の書き方、メールの使い方 『リトルバード』（第21回～第24回）	○	○	○	・さまざまな文章の読解方法を理解し、演習に生かしている。 ・敬語の使い方を理解し、手紙やメールの書き方に生かしている。 （小テスト・ワーク・プリントなど）	○	○	○	8
										合計
										70

東村山 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科： 国語 科目： 小論文演習

教科： 国語 科目： 小論文演習 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組（選択者）

教科担当者： 持田・山林

使用教科書： 東京書籍『新編論理国語』）

教科 国語 の目標：	
【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者とのかかわりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。
科目 小論文演習 の目標：	
【知識及び技能】	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広めたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			読	書					
1 学 期	・自己の特徴を考え、表現させる。 ・自己の表現能力の実態を把握させる。 ・話し言葉と書き言葉の違いを理解させる。	・スピーチ（自己PR） ・話し言葉と書き言葉	○	○	・自己の特徴をとらえ、表現能力の実態を把握している。 ・話し言葉と書き言葉の違いを理解し、実際に使える。	○	○	○	7
	・基本的な小論文の段落構成を理解させる。 ・情報、通信に関する問題点と解決策を考えさせる。	・小論文（情報・通信）		○	・小論文の基本的な書き方を理解して、文章を書いている。 ・情報、通信に関して問題意識を持っている。	○	○	○	7
	・自己の長所、短所を把握したうえで自己PR文を書かせる。 ・敬語表現を理解させ、会話の中で使えるようにさせる。	・自己PR文章 ・敬語	○	○	・進学、就職先に合わせた自己PR文を書いている。 ・敬語表現を理解し、実際に使えるようになっている。	○	○	○	7
	・志望動機を明確にし、文章にまとめさせる。	・志望動機		○	・進学、就職先に合わせた志望動機を書いている。	○	○	○	19
2 学 期	・面接にふさわしい服装やふるまいを理解させる。	・面接練習（1）	○	○	・面接にふさわしい服装や、入室から退場までの流れなどの基本事項を理解している。	○	○	○	13
	・面接での基本的な質問事項の答えをまとめさせ、表現方法を工夫させる。 ・論理展開や文章の構成を意識しながら、相手を説得させるような文章の書き方を習得させる。	・面接練習（2） ・小論文	○	○	・質問事項に対する答えをまとめ、話し方や話す順序などを工夫している。 ・小論文、要約文の基本的な書き方を意識しながら、文章を書いている。	○	○	○	13
3 学 期	・プレゼンテーションのテーマに合わせた情報収集について考えさせる。 ・情報の資格化や効果的な話し方を工夫させる。	・スピーチ（プレゼンテーション）	○	○	・テーマに合わせて情報収集をすることができている。 ・表現工夫がされている。	○	○	○	4
									合計
									70

東村山 高等学校 令和6年度（3学年用）教科： 地歴 科目： 日本史探究

教 科：地歷 科 目：日本史探究

单位数： 3 单位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（１組：山岸） （２組：坂本） （３組：山岸） （４組：坂本） （５組：山岸） （６組：山岸）

使用教科書：（日本史探究 高校世界史 山川出版社）

教科 地歴 の目標：		
【知 識 及 び 技 能】	日本の歴史の大きな枠組み、流れを理解する。	
【思考力、判断力、表現力等】	多面的・多角的に考察し、問題の原因や課題の解決に向けて、考察・構想したことを説明したり議論する。	
【学びに向かう力、人間性等】	学習を主体的に取り組み、現代を生きる事と過去の出来事を繋げて関心を持つ。	
科目 日本史探究 の目標：		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的まとめる技能を身に付けるようにする。	課題の解決を視野に入れて、現代的な諸課題の形成にかかわる歴史を多角的に考察する。地図や絵画資料を正しく読み取る。	歴史の大きな変化に着目し、問いを設け、資料を活用しながら歴史の学び方を習得する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【知識及び技能】 19世紀の欧米の進出と日本の開国、条約の締結による社会の変動について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 種々の資料にもとづいて歴史的な見方および考え方ができるようにし、またそこから現在とのつながりについて考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 日常生活に目を向けてその変化を調べ、歴史を実感できるよう主体的に追究しようとする態度を養う。	・指導事項 ①欧米のアジア進出と日本の開国 ②貿易の開始とその社会への影響 ③倒幕運動と戊辰戦争 ④新政府の樹立と諸改革 ・教材 教科書、準備ノート、授業プリント ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 授業プリントにおいて、知識問題等が正確にかけられている。 【思考・判断・表現】 授業プリントにおいて、指示された通りの表現が描かれている。 資料を読み取り、自らの考えが書かれている。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物が期日を守り、完全な状態で出されている。 授業に集中している。 授業に積極的に参加している。	○	○	○	44
	定期考査			○	○		
2 学 期	【知識及び技能】 明治維新、自由民権運動を基に、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解する。また、日清日露戦争など、日本が列強の仲間入りをしていく過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 種々の資料にもとづいて歴史的な見方および考え方ができるようにし、またそこから現在とのつながりについて考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 日常生活に目を向けてその変化を調べ、歴史を実感できるよう主体的に追究しようとする態度を養う。	・指導事項 ①明治維新と社会への影響 ②岩倉使節団と不平士族の反乱 ③自由民権運動の高揚 ④条約改正と初期議会 ⑤朝鮮問題と日清戦争 ⑥日露戦争 ・教材 教科書、準備ノート、授業プリント ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 授業プリントにおいて、知識問題等が正確にかけられている。 【思考・判断・表現】 授業プリントにおいて、指示された通りの表現が描かれている。 資料を読み取り、自らの考えが書かれている。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物が期日を守り、完全な状態で出されている。 授業に集中している。 授業に積極的に参加している。	○	○	○	52
	定期考査			○	○		
3 学 期	【知識及び技能】 軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 種々の資料にもとづいて歴史的な見方および考え方ができるようにし、またそこから現在とのつながりについて考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 日常生活に目を向けてその変化を調べ、歴史を実感できるよう主体的に追究しようとする態度を養う。	・指導事項 ①満州事変と軍部の台頭 ②226事件と国際社会の変容 ③ファシズムと第2次世界大戦 ・教材 教科書、準備ノート、授業プリント ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 授業プリントにおいて、知識問題等が正確にかけられている。 【思考・判断・表現】 授業プリントにおいて、指示された通りの表現が描かれている。 資料を読み取り、自らの考えが書かれている。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物が期日を守り、完全な状態で出されている。 授業に集中している。 授業に積極的に参加している。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		
							合計
							105

東村山 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科： 地理 科目： 世界史探究

教科： 地理 科目： 世界史探究 単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組：山口）（2組：小川）（3組：山口）（4組：山口）（5組：山口）（6組：小川）

使用教科書：（世界史探究 高校世界史 山川出版社）

教科 地理 の目標：		
【知識及び技能】	世界の歴史の大きな枠組みを理解する。	
【思考力、判断力、表現力等】	多面的・多角的に考察し、課題の解決に向けて構想し、考察・構想したことを説明したり議論する。	
【学びに向かう力、人間性等】	課題を主体的に解決しようとし、日本国民としての自覚と愛情をもち、他国の文化を尊重する。	
科目 世界史探究 の目標：		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的まとめる技能を身に付けるようにする。	課題の解決を視野に入れて、現代的な諸課題の形成にかかわる歴史を多角的に考察する。	歴史の大きな変化に着目し、問いを設け、資料を活用しながら歴史の学び方を習得する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【知識及び技能】 歴史を構成する種々の資料の特性とその取り扱いの留意点についてアウトラインを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 種々の資料にもとづいて歴史的な見方および考え方ができるようにし、またそこから現在とのつながりについて考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 日常生活に目を向けてその変化を調べ、歴史を実感できるよう主体的に追究しようとする態度を養う。	・指導事項 ①人類の進化 ②文明の誕生 ③古代オリエント文明とその周辺 ④南アジアの古代文明 ・教材 教科書、準拠ノート、授業プリント ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 授業プリントにおいて、知識問題等が正確にかけられている。 【思考・判断・表現】 授業プリントにおいて、指示された通りの表現が描かれている。 資料を読み取り、自らの考えが書かれている。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物が期日を守り、完全な状態で出されている。 授業に集中している。 授業に積極的に参加している。	○	○	○	44
	定期考査			○	○		
2 学 期	【知識及び技能】 歴史を構成する種々の資料の特性とその取り扱いの留意点についてアウトラインを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 種々の資料にもとづいて歴史的な見方および考え方ができるようにし、またそこから現在とのつながりについて考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 日常生活に目を向けてその変化を調べ、歴史を実感できるよう主体的に追究しようとする態度を養う。	・指導事項 ①イラン諸国家の興亡とイラン文明 ②ギリシア世界 ③ローマと地中海支配 ④キリスト教の成立と発展 ⑤アラブの大征服とカリフ政権の成立 ⑥ヨーロッパ世界の形成 ・教材 教科書、準拠ノート、授業プリント ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 授業プリントにおいて、知識問題等が正確にかけられている。 【思考・判断・表現】 授業プリントにおいて、指示された通りの表現が描かれている。 資料を読み取り、自らの考えが書かれている。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物が期日を守り、完全な状態で出されている。 授業に集中している。 授業に積極的に参加している。	○	○	○	52
	定期考査			○	○		
3 学 期	【知識及び技能】 歴史を構成する種々の資料の特性とその取り扱いの留意点についてアウトラインを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 種々の資料にもとづいて歴史的な見方および考え方ができるようにし、またそこから現在とのつながりについて考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 日常生活に目を向けてその変化を調べ、歴史を実感できるよう主体的に追究しようとする態度を養う。	・指導事項 ①ヨーロッパの海洋進出、アメリカ大陸の変容 ・教材 教科書、準拠ノート、授業プリント ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 授業プリントにおいて、知識問題等が正確にかけられている。 【思考・判断・表現】 授業プリントにおいて、指示された通りの表現が描かれている。 資料を読み取り、自らの考えが書かれている。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物が期日を守り、完全な状態で出されている。 授業に集中している。 授業に積極的に参加している。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		
							合計
							105

東村山 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科： 地歴 科目： 地理探究

教科： 地歴 科目： 地理探究 単位数： 4 単位
対象学年組： 第 3 学年 選択
教科担当者： （1組：中里） （2組：中里） （3組：中里） （4組：中里） （5組：中里） （6組：中里）
使用教科書： （高等学校新地理総合 帝国書院）

教科 地歴 の目標：		
【知 識 及 び 技 能】	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開を理解し、様々な情報から調べまとめる。	
【思考力、判断力、表現力等】	多面的・多角的に考察し、課題の解決に向けて構想し、考察・構想したことを説明したり議論する。	
【学びに向かう力、人間性等】	課題を主体的に解決しようとし、日本国民としての自覚と愛情をもち、他国の文化を尊重する。	
科目 地理探究 の目標：		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地球的視野から地理的事象の空間的な規則性、傾向性や関連する課題の発生要因をとらえ、現代世界の諸事象の地理的認識を深めるとともに地誌的な考察方法を身につける。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や考察・構想したことを説明したり、議論する力を養う。	課題を主体的に追究・解決しようとする態度を養い、我が国の抱える地理的な諸課題の現状と解決の方向性、日本の望ましい将来像について認識を深めようとする態度を育成する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	単元 自然環境 【知識及び技能】 世界の地形や気候の特徴を理解し、世界や日本の各地で発生する自然災害は、その地域の地形や気候といった自然環境と密接に結び付いていることをまとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 景観写真や模式図から生成過程や人間生活の関係について多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現に向けてそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。 単元 世界の環境問題 【知識及び技能】 地球規模での環境問題が深刻化している背景や要因について理解し、問題解決のための具体的な取り組みについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 主題図や模式図、写真を用いて問題解決のための具体的な取り組みについて考察するとともに、持続可能な社会の在り方について表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 持続可能な社会の在り方について関心と課題意識を高め、意欲的にとらえようとする態度を養う。	・指導事項 世界の地形 気候と自然環境 気候と人々の生活 日本の自然環境と自然災害 世界の環境問題 日本の環境問題 ・教材 教科書、準拠ノート、 授業プリント ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 基本的な事項が理解できている。 授業プリントにおいて、知識問題等が正確にかけられている。 【思考・判断・表現】 授業プリントにおいて、指示された通りの表現が描かれている。 資料を読み取り、自らの考えが書かれている。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題が期日を守り、完全な状態で出されている。 授業に集中している。 授業に積極的に参加している。	○	○	○	52
	定期考査			○	○		
2 学期	単元 産業と資源 【知識及び技能】 産業の立地とその形態、成立要因について理解し、主題図や模式図から国内外の動向と関わりからその変容と課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 産業の成立・発展過程と国内外の動向と関わりから諸課題について多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 産業・資源に関わる現状について、国内外の動向から課題意識を高め、意欲的に追求し捉えようとする態度を養う。 単元 人口・村落・都市 【知識及び技能】 先進国と発展途上国が抱える人口問題の背景と特徴を理解し、都市・村落の機能と立地要因と居住・都市が抱える問題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 先進国と発展途上国が抱える人口問題の特徴と背景・要因、もたらされる影響についてと、村落の変容、都市問題について、多面的多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 人口問題・近年の村落・都市が直面する問題について、課題意識を高め、意欲的に追求しようとする態度を養う。	・指導事項 産業の発展と社会的分業 農林水産業 食料問題 エネルギーと鉱産資源 資源エネルギー問題 工業立地と地域の変容 第三次産業 交通・観光 人口問題 村落・都市 ・教材 教科書、準拠ノート、 授業プリント ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 基本的な事項が理解できている。 授業プリントにおいて、知識問題等が正確にかけられている。 【思考・判断・表現】 授業プリントにおいて、指示された通りの表現が描かれている。 資料を読み取り、自らの考えが書かれている。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物が期日を守り、完全な状態で出されている。 授業に集中している。 授業に積極的に参加している。	○	○	○	60
	定期考査			○	○		
3 学期	単元 生活文化の地域性 【知識及び技能】 文化についての定義の理解をふまえ、世界諸地域における文化の形成過程と変容過程について、多面的・多角的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の人々の生活文化について地域の特徴や自然及び社会的条件との関わりに着目して、主題図や写真を用いて地域によって異なる要因や変容する過程について多面的・多角的に考察・表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 生活文化・民族・宗教 民族問題 現代の国家と領土問題 ・教材 教科書、準拠ノート、 授業プリント ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 授業プリントにおいて、知識問題等が正確にかけられている。 【思考・判断・表現】 授業プリントにおいて、指示された通りの表現が描かれている。 資料を読み取り、自らの考えが書かれている。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題に積極的に取り組んでいる。 提出物が期日を守り、完全な状態で出されている。 授業に集中している。	○	○	○	28
	定期考査			○	○		
							合計
							140

東村山 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科： 公民 科目： 政治・経済

教科： 公民 科目： 政治・経済 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者： （1組：常澤） （2組：常澤） （3組：常澤） （4組：常澤） （5組：常澤） （6組：常澤）

使用教科書： （高等学校公民科用 政治・経済（東京書籍））

教科 公民 の目標：	
【知識及び技能】	倫理・政治・経済などに関わる現在の諸課題について理解する。
【思考力、判断力、表現力等】	現代の諸課題について資料をもとに考え、議論する。
【学びに向かう力、人間性等】	よりよい社会の実現のために主体的に解決する態度を身に付ける。
科目 政治・経済 の目標：	
【知識及び技能】	
選択・判断の指掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	
	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、民主主義を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	単元：現代日本の政治 【知識・技能】政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。現代日本の政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、日本国憲法と現代政治のあり方との関連および望ましい政治のあり方ならびに主権者としての政治参加のあり方について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・指導事項 現代日本の政治 民主政治の基本原則 日本国憲法の基本原則 日本の政治機構 世界の主な政治体制 現代政治の特質と課題 世論と政治参加 18歳からの社会参加 (18歳になるとできること) (選挙権の行使に向けて) ・教材 教科書、資料集、授業プリント ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 授業を受けることによって、新しい知識や技能を得ることができたか。授業プリントで、知識問題等が正確に記述できているか。定期考査において、理論的に考察しつつ正しい知識に裏付けられた解答ができていないか。 【思考・判断・表現】 授業プリントやノートの記述内容について、教科書の記述内容や授業内容を理解しながら指示された表現を用いて書かれているか。資料を読み取り、自らの表現で自らの考えが書かれているか。定期考査。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物について、期日を守りつつ指示された完全な状態で出されているか。授業時間中に集中して取り組んでいるか。授業に積極的に参加しているか。	○	○	○	26
	定期考査			○	○		
2 学期	単元：現代日本の経済、現代日本の諸課題 【知識・技能】経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民所得と経済成長、物価と景気変動、財政のしくみと役割および租税などの意義、金融のしくみと機能について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。現代日本における政治・経済の諸課題に関する諸資料について、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、経済活動と福祉の向上との関連ならびに市場経済の機能と限界、持続可能な財政および租税のあり方、金融を通じた経済活動の活性化について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。現代日本における政治・経済の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし、合意形成や社会参画に向かおうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】現代の日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・指導事項 現代日本の経済 経済活動の意義 現代の資本主義経済 現代経済のしくみ 市場経済の機能と限界 生産のしくみと企業 国民所得と経済成長 金融の仕組みと機能 財政のしくみと機能 18歳からの社会参加 (ライフプランと金融) (消費者市民社会の実現) ・教材 教科書、資料集、授業プリント ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 授業を受けることによって、新しい知識や技能を得ることができたか。授業プリントで、知識問題等が正確に記述できているか。定期考査において、理論的に考察しつつ正しい知識に裏付けられた解答ができていないか。 【思考・判断・表現】 授業プリントやノートの記述内容について、教科書の記述内容や授業内容を理解しながら指示された表現を用いて書かれているか。資料を読み取り、自らの表現で自らの考えが書かれているか。定期考査。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物について、期日を守りつつ指示された完全な状態で出されているか。授業時間中に集中して取り組んでいるか。授業に積極的に参加しているか。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		
3 学期	単元：国際社会の諸課題 【知識・技能】国際社会における政治・経済の諸課題に関する諸資料について、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】グローバル化にともなう社会変容、地球環境と資源・エネルギー問題、国際的な経済格差の是正、イノベーションの促進と成長市場、民族問題と紛争の解決、持続可能な社会の実現などについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】国際社会における政治・経済の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし、合意形成や社会参画に向かおうとしている。	・指導事項 現代の国際政治 国際連合の役割と課題 現代の国際経済 国民経済と国際経済 世界経済の現状と課題 国際社会の諸課題 ・教材 教科書、資料集、授業プリント ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 授業を受けることによって、新しい知識や技能を得ることができたか。授業プリントで、知識問題等が正確に記述できているか。定期考査において、理論的に考察しつつ正しい知識に裏付けられた解答ができていないか。 【思考・判断・表現】 授業プリントやノートの記述内容について、教科書の記述内容や授業内容を理解しながら指示された表現を用いて書かれているか。資料を読み取り、自らの表現で自らの考えが書かれているか。定期考査。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物について、期日を守りつつ指示された完全な状態で出されているか。授業時間中に集中して取り組んでいるか。授業に積極的に参加しているか。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		
							合計
							70

東村山	高等学校	令和6年度（3学年用）	教科： 数学	科目： 数学C
-----	------	-------------	--------	---------

教 科： 数学	科 目： 数学C	単位数： 2	単 位
対象学年組：第 3 学年			
教科担当者：（ 松本 ）			
使用教科書： 数研出版 最新数学C			

教科 数学 の目標：		
【 知 識 及 び 技 能 】	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	
【思考力、判断力、表現力等】	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	
科目 数学C の目標：		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	大きさや向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	○平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル、ベクトルの成分表示について理解すること。 ○ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解すること。 ○座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解すること。 ○実数などの演算の法則と関連付けて、ベクトルの演算法則を考察すること。 ○ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて、平面図形や空間図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりすること。 ○数量や図形及びそれらの関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、ベクトルやその内積の考えを問題解決に活用すること。	○平面上のベクトル ○ベクトルの演算 ○ベクトルの成分 ○ベクトルの内積 ○位置ベクトル ○ベクトルと図形 ○ベクトル方程式 ○空間の座標 ○空間のベクトル ○ベクトルの成分 ○ベクトルの内積 ○位置ベクトル ○ベクトルと図形 ○座標空間における図形	【知識・技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学の良さを認識し積極的に活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	26
2 学 期	○放物線、楕円、双曲線が二次式で表されることが及びそれらの二次曲線の基本的な性質について理解すること。 ○曲線の媒介変数表示について理解すること。 ○極座標の意味及び曲線が極方程式で表されることがについて理解すること。 ○複素数平面と複素数の極形式、複素数の実数倍、和、差、積及び商の図形的な意味を理解すること。 ○ド・モアブルの定理について理解すること。 ○放物線、楕円、双曲線を相互に関連付けて捉え、考察すること。 ○複素数平面における図形の移動などと関連付けて、複素数の演算や累乗根などの意味を考察すること。 ○日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて曲線を表すなどして、媒介変数や極座標及び複素数平面の考えを問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。	○放物線 ○楕円 ○双曲線 ○2次曲線の平行移動 ○2次曲線と直線 ○2次曲線の性質 ○曲線の媒介変数表示 ○極座標と極方程式 ○コンピュータといろいろな曲線	【知識・技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学の良さを認識し積極的に活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	26
3 学 期	○日常の事象や社会の事象などを、図、表、統計グラフなどを用いて工夫して表現することの意義を理解すること。 ○日常の事象や社会の事象などを、離散グラフや行列を用いて工夫して表現することの意義を理解すること。 ○図、表、統計グラフ、離散グラフ及び行列などを用いて、日常の事象や社会の事象などを数学的に表現し、考察すること。	○データの表現方法の工夫 ○行列による表現 ○離散グラフによる表現 ○離散グラフと行列の関連	【知識・技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学の良さを認識し積極的に活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	18
							合計
							70

東村山 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科： 数学 科目： 数学基礎

教科： 数学 科目： 数学基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年

教科担当者： （ 入江・松本 ）

使用教科書： 数研出版 最新数学Ⅰ

教科 数学 の目標：	
【知識及び技能】	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。	・命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 ・図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現することができる。 ・関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察することができる。 ・1次方程式 ・2次方程式①解の公式など ・2次方程式②判別式 ・1次不等式 ・2次不等式	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・基本的な計算ができるようにする。 ・展開、因数分解の公式が使えるようにする。 ・ $\sqrt{\quad}$ の計算ができるようにする。 ・様々な方程式の解法を身につける。 ・様々な不等式の解法を身につける。	・数の計算 ・整式 ・乗法公式 ・因数分解 ・無理数 ・1次方程式 ・連立方程式 ・2次方程式①解の公式など ・2次方程式②判別式 ・1次不等式 ・2次不等式	【知識・技能】 ・数を実数まで拡張する意義を理解するとともに、簡単な無理数の計算をすることができる。 ・2次の乗法公式や因数分解の公式を適切に用いて計算をすることができる。 ・不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、1次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 ・1次方程式を解く方法や不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察することができる。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、1次不等式を問題解決に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	14
	・集合と命題の関係を理解する。	・命題と論理	【知識・技能】 ・命題に関する基本的な概念を理解している。 【思考・判断・表現】 ・命題を論理的に考察し、簡単な命題の証明をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を論証の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	8
	・関数の意味を理解し、グラフをかける。 ・二次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解すること。 ・グラフを用いて、関数の最大・最小を求めることができる。	・関数とグラフ ・2次関数 ・2次関数の最大・最小	【知識・技能】 ・2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 ・2次関数の最大値や最小値を求めることができる。 ・2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解している。 ・2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかきなど多面的に考察することができる。 ・2つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を2次関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	4
2 学 期	・三角比が直角三角形の辺の比であることを理解し、図より三角比を求めることができる。 ・相互関係を用いて、他の三角比の値を求めることができる。 ・正弦定理を用いて、問題を与えられた辺や角以外の辺・角を求めることができる。 ・余弦定理を用いて、問題で与えられた辺や角以外の辺・角を求めることができる。 ・面積の公式より、三角比を用いて三角形の面積を求めることができる。	・三角比 ・三角比の相互関係 ・正弦定理 ・余弦定理 ・図形の計量 ・図形と角度 ・円の性質	【知識・技能】 ・鋭角の三角比の意味と相互関係について理解している。 ・三角比を鈍角まで拡張する意義を理解している。 ・鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解している。 ・正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解している。 ・正弦定理や余弦定理などを用いて三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現し、定理や公式として導くことができる。 ・図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を図形と計量の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	8
	・就職問題で頼出の問題に取り組むことができる。 ・図形の性質を用いて証明することができる。 ・これまで学んだ性質を用いて様々な面積や体積を求めることができる。	・百分率と歩合 ・濃度・速度 ・合同と相似 ・面積 ・体積	【知識・技能】 ・百分率や歩合の概念を正しく理解し、実生活の状況において概念を適切に適用できる。 ・溶液の濃度や速度の計算方法を理解し、問題を解く際に必要な計算を正確に行える。 ・図形の合同と相似の特性を理解し、それらの性質を用いて問題を解決できる。 ・面積や体積を計算する方法を理解し、異なる図形の面積や体積を比較し、問題を解決できる。 【思考・判断・表現】 ・与えられた問題に対して、適切な計算手順を選択し、正確に計算することができる。 ・実生活の状況に対して、数式的なモデルを構築し、問題を解決するための手順を選択できる。 ・図形の性質や合同・相似の関係を分析し、正確に実施できる。 ・図形の性質を分析し、適切な計算手順を選択し、計算結果を適切に表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・新しい計算を学ぶ際に学習意欲を持ち、積極的に学習に取り組む態度を示すことができる。 ・実生活の問題に対して数式的なアプローチを積極的に探求することができる。 ・図形の性質に好奇心を持ち、問題解決のためにアイデアを積極的に追求することができる。 ・立休や図形に対する興味を持ち、自己学習目標を設定し努力することができる。	○	○	○	18
3 学 期	・2学期までに学習した内容を覚えており、就職問題に取り組むことができる。 ・2学期までに学習した内容を覚えており、就職問題に取り組むことができる。	・総合問題① ・総合問題② ・総合問題③ ・就職試験	【知識・技能】 ・就職試験に必要な基礎的な数学知識を理解している。 ・応用問題に対して適切な数式的手法や計算方法を選択し、解決できる能力がある。 ・数学的概念や原理を応用して実世界の問題を解析し、解決策を導く能力がある。 【思考・判断・表現】 ・問題解決の過程で論理的思考を展開し、正確な結論を導く能力がある。 ・数学的な考察や推論を明確かつ効果的に表現できる。 ・複雑な問題に対して創意的かつ効果的な解決策を提案できる能力がある。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学の学習に積極的に取り組む。 ・数学の性質に好奇心を持ち、問題解決のためにアイデアを積極的に探求することができる。 ・問題解決の過程で自己の課題や不足を認識し、それらに対処する能力がある。 ・チームワークや協力を通じて、他の生徒と共に学習を深めることができる。	○	○	○	18
							合計
							70

東村山 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科： 数学 科目： 数学発展

教科： 数学 科目： 数学発展 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年

教科担当者： （ 松本 ）

使用教科書： 数研出版 最新数学Ⅰ

教科 数学 の目標：	
【知識及び技能】	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学発展 の目標：		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。	・命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 ・図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現することができる。 ・関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察することができる。 ・社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりすることができる。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・同類項をまとめるなど、整式における基本的な計算をすることができる。 ・置き換えや掛ける順序の工夫など、さまざまな工夫をすることで複雑な展開の問題を解くことができる。 ・2種類以上の文字を含む整式を、1つの文字に着目して降べきの順に整理することで、因数分解を行うことができる。 ・実数内のあらゆる数の包含関係を理解し、問題によって必要な答えを判断することができる。 ・分母が根号を含む和差の形である分数を、有理化することができる。	・整式の加法と減法 ・整式の乗法 ・因数分解 ・実数 ・根号を含む式の計算	【知識・技能】 ・数を数まで拡張する意義を理解するとともに、簡単な無理数の計算をすることができる。 ・2次の乗法公式や因数分解の公式を適切に用いて計算をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	12
	・連立不等式を、数直線を利用して解くことができる。 ・文章から、自らで不等式を立てることができる。 ・絶対値の性質を理解し、適切に絶対値をはずすことができる。 ・集合の表し方を見て、どんな要素が含まれているかをイメージすることができる。	・不等式の性質 ・1次不等式 ・絶対値を含む方程式・不等式 ・集合	【知識・技能】 ・不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、1次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・1次方程式を解く方法や不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察することができる。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、1次不等式を問題解決に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	8
	・命題と条件の違いを理解することができる。 ・命題や条件の真偽を判断することができる。 ・もとの命題と逆・裏・対偶の関係を理解することができる。	・命題と条件 ・命題とその逆・対偶・裏	【知識・技能】 ・命題に関する基本的な概念を理解している。 【思考・判断・表現】 ・命題を論理的に考察し、簡単な命題の証明をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を論証の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	4
2 学 期	・関数の定義を理解し、 x の値に対応する関数の値を求めることができる。 ・直線と放物線のグラフを描くことができる。 ・2次関数の最大・最小を求めることができる。	・関数とグラフ ・2次関数とグラフ ・2次関数の最大・最小 ・2次関数の決定	【知識・技能】 ・2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 ・2次関数の最大値や最小値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を2次関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	8
	・2次関数のグラフと x 軸との共有点が、2次方程式の解であることを理解できる。 ・基本的な2次不等式を解くことができる。 ・ $\sin \theta$ 、 $\cos \theta$ 、 $\tan \theta$ の性質を理解でき、値を求めることができる。	・2次方程式 ・2次不等式 ・三角比 ・三角比相互関係	【知識・技能】 ・2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解している。 ・2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・1つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察しすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を2次関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	10
	・鈍角における三角比を求めることができる。 ・三角形の辺の長さ、角度を求めることができる。 ・面積を求めることができる。 ・三角形の外接円、内接円の半径を求めることができる。	・三角比の拡張 ・正弦定理 ・余弦定理 ・正弦定理と余弦定理の応用 ・三角形の面積	【知識・技能】 ・鋭角の三角比の意味と相互関係について理解している。 ・三角比を鈍角まで拡張する意義を理解している。 ・鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解している。 ・正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解している。 ・正弦定理や余弦定理などを用いて三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現し、定理や公式として導くことができる。 ・図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察しすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を図形と計量の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	10
3 学 期	・度数分布表、ヒストグラムを作成できる。 ・代表値の意味を理解し、求めることができる。 ・箱ひげ図を表すことができる。 ・分散、標準偏差を求めることができる。	・データの整理 ・データの代表値 ・データの散らばりと四分位数 ・分散と標準偏差	【知識・技能】 ・分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解している。 ・コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができる。 【思考・判断・表現】 ・データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。 ・目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。 ・不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象をデータの分析の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	18
							合計
							70

東村山 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科： 理科 科目： 物理

教科： 理科 科目： 物理 単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年

教科担当者：橋本 明美

使用教科書：（東京書籍 物理）

教科 理科 の目標：		
【知識及び技能】	自然現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身につける。	
【思考力、判断力、表現力等】	自然現象についての観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	
【学びに向かう力、人間性等】	自然現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	
科目 物理 の目標：		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身につけるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	様々な運動 【知識及び技能】 物体の運動についての観察、実験などを通して、様々な運動について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な物体の運動について、観察、実験などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な運動についての事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする。	・指導事項 ①平面内の運動と剛体のつりあい ②運動量 ③円運動と単振動 ④万有引力 ⑤気体の分子運動 ・教材 教科書・副教材・授業プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 物体の運動について理解するとともに、実験の技能を身に付けている。 基本的な単位の換算ができる。 【思考・判断・表現】 物体の運動などの観察、実験を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 物体の運動などに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。	○	○	○	54
	定期考査			○	○		
2 学 期	波 【知識及び技能】 波動現象についての観察、実験などを通して、波について、日常生活や社会と関連付けて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 波について、観察、実験などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 波についての事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする。	・指導事項 ①波の伝わり方 ②音 ③光 ・教材 教科書・副教材・授業プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 波の性質や音や光の関係について理解するとともに、実験の技能と身の周りの波動現象について探究する方法を身に付けている。 【思考・判断・表現】 波の性質や音や光の関係についての観察、実験を行い、規則性や関係性を見いだして表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身の周りの波動現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。	○	○	○	64
	定期考査			○	○		
3 学 期	電気と磁気 【知識及び技能】 電気や磁気に関する現象についての観察、実験などを通して、電気や磁気について日常生活や社会と関連付けて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 電気や磁気について、観察、実験などを通して探究し、電気と電流、電流と磁界における規則性や関係性を見いだして表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 転機と磁気についての事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする。	・指導事項 ①電気と電流 ②電解と電位 ③電流と磁界 ・教材 教科書・副教材・授業プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 電気と磁気について理解するとともに、実験の技能と身の周りの電気や磁気について探究する方法を身に付けている。 【思考・判断・表現】 電気と磁気についての観察、実験を行い、身の周りの電気に関する事柄を科学的に探究する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 電気と磁気、電気の利用に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。	○	○	○	22
	定期考査			○	○		
							合計
							140

東村山 高等学校 令和 6 年度（3 学年用） 教科： 理科 科目： 化学

科目：化学

单位数：4 单位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（ 齋藤 ）

使用教科書：（ 數研出版 新編 化学 ）

教科 理科	の 目 標 :	
【 知 識 及 び 技 能 】	自然現象について、理解するとともに観察・実験技術を身に付ける。	
【思考力、判断力、表現力等】	自然現象について、特徴を見出して表現している。	
【学びに向かう力、人間性等】	自然現象の理解に主体的にかかわり、見通しを持ったり振り返りをするなど科学的に探究しようとしている。	
科目 化学	の 目 標 :	
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
物質とその変化についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 固体の構造 【知識及び技能】 固体の結晶格子の概念とそれぞれの結晶の構造について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 固体の結晶格子について表現し、それぞれの違いについて説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 結晶格子の違いから性質の違い等に自ら学ぶ。	・指導事項 結晶とアモルファス 金属結晶 イオン結晶 分子間力と分子結晶 共有結合の結晶 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 様々な固体の結合を理解するとともに、科学的に探究する方法を理解する。身近な物質の探究に必要な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 身近な物質の探究に関する事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考え方を的確に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な物質の探究に関する事物・現象に主体的に関わり、それらに対する気付きからさらに探究しようとする態度を身に付けている。	○	○		6
	B 物質の状態変化 【知識及び技能】 状態変化に伴うエネルギーの出入りや化学結合と融点・沸点の関係を理解するとともに、気液平衡や蒸気圧、状態図について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 エネルギー変化のグラフから発生したエネルギーや与したエネルギーについて表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 原子の動きから状態変化が起きていることや、状態の違いについて興味を持つ。	・指導事項 粒子の熱運動 三態の変化とエネルギー 気液平衡と蒸気圧 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 物質の状態変化について理解するとともに、化学的に探究する方法を理解する。また、エネルギーの出入りについて理解する。 【思考・判断・表現】 状態変化に関する事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事象を化学的に考察し、導き出した考え方を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質の状態変化に関する事物・現象に主体的に関わり、さらに探究しようとする態度を身に付けている。	○		○	6
	C 気体 【知識及び技能】 気体に関する事象について理解するとともに、理想気体・実在気体との違いについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 気体の状態方程式から気体の密度等を求めることができ、実在気体を理想気体に近づける条件について表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 気体の違いについて興味を持ち、主体的に学ぶことができる。	・指導事項 気体の体積 気体の状態方程式 混合気体の圧力 実在気体 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 気体に関する事象について理解するとともに、科学的に探究する方法を理解する。 【思考・判断・表現】 気体について状態方程式を用いて密度や分子量を求めると、理想気体と実在気体との違いについて表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 気体に関する事物・現象に主体的に関わり、探究しようとする態度を養う。	○		○	11
	定期考査			○	○		
	D 溶液 【知識及び技能】 溶液に関する事象について理解するとともに凝固点効果といった現象が起こることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 溶液の濃度から蒸気圧や凝固点降下の変化について表現するとともに、溶液に関する計算についてすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 溶液の違いについて興味を持ち、主体的に学ぶことができる。	・指導事項 溶液とそのしくみ 溶解度 希薄溶液の性質 コロイド溶液 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 溶液に関する事象について理解するとともに科学的に探究する方法を理解する。 【思考・判断・表現】 溶液の濃度から蒸気圧降下や蒸気圧について計算をすることができる。また、溶液に関する特徴について表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 溶液に関する事物・現象について主体的に関わり、探究しようとする。	○	○	○	12
	E 化学反応とエネルギー 【知識及び技能】 化学反応に伴う熱量をエンタルピー変化を理解するとともにそれぞれの結合のエネルギーについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 反応エンタルピーの種類を判断することで、目的のエンタルピー変化を求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 エンタルピー変化について興味をもち、主体的に学ぶことができる。	・指導事項 化学反応と熱 ヘスの法則 化学反応と光 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 エネルギーに関する事象について理解するとともに科学的に探究する方法を理解する。 【思考・判断・表現】 化学反応に伴う熱量のエンタルピー変化にを計算で求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 化学反応に伴う熱量について主体的に関わり、探究しようとする。	○	○	○	10
	F 電池と電気分解 【知識及び技能】 電池の仕組みについて酸化還元反応と関連付けて理解するとともに、具体的な電池の構造について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 電池の構造から正極負極について考えることができる。とともにファラデー法則に基づく電気分解の量的関係について計算することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 電池の仕組みや構造について興味をもち、主体的に学ぶことができる。	・指導事項 電池 電気分解 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 電池の構造や仕組みについて理解するとともに、科学的に探究する方法を理解する。 【思考・判断・表現】 電気分解における量的関係について計算することができる。電池の構造から電子の動きについて表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 電池に関する事象・現象について主体的に関わり、探究しようとする。	○	○	○	8

1 学 期	G 化学反応の速さとしくみ 【知識及び技能】 化学反応の反応速度の表し方を理解するとともに反応条件についても理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 化学反応の反応条件から反応の仕組みについて考えとともに、触媒について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 化学反応について反応速度に影響を与える要因について興味をもち、主体的に学ぶことができる。	・指導事項 化学反応の速さ 反応条件と反応速度 化学反応のしくみ ・教材 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 化学反応の反応速度について理解するとともに、科学的に探究する方法を理解している。 【思考・判断・表現】 反応速度の表し方、それを求めることができる。触媒の利用例について表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 化学反応に関する事象・現象について主体的に関わり、探究しようとする。	○	○	○	8
	H 化学平衡 【知識及び技能】 化学平衡について理解するとともにそれにかかわる原理や法則について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 化学平衡について条件を変更することで平衡がどのように移動するか考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 化学平衡について興味をもち、主体的に学ぶことができる。	・指導事項 可逆反応と化学平衡 平衡状態の変化 電解質水溶液の化学平衡 ・教材 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 化学平衡の原理や法則について理解している。 【思考・判断・表現】 化学平衡が条件を変更することによって平衡がどのように移動するかについて表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 化学平衡に関する事象や現象について主体的に関わり、探究しようとする。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		
2 学 期	I 無機物質 【知識及び技能】 無機物質について理解するとともに、その性質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 無機物質についてそれらの性質について説明できるとともにその実験室的製法等について順序だてて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 無機物質について興味をもち、主体的に学ぶことができる。	・指導事項 元素の分類と周期表 非金属元素 金属元素（典型元素） 金属元素（遷移元素） ・教材 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 無機物質について理解し、その性質についても理解する。 【思考・判断・表現】 無機物質について説明できるとともにそれらの製法について正しく説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 無機物質に関する事象や現象について主体的に関わり、探究しようとする。	○	○	○	18
	J 有機化合物 【知識及び技能】 有機化合物について理解するとともに、その性質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 有機化合物についてそれらの性質について説明できるとともにその実験室的製法等について順序だてて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 有機化合物について興味をもち、主体的に学ぶことができる。	・指導事項 有機化合物の分類と分析 脂肪族炭化水素 アルコールと関連化合物 芳香族化合物 ・教材 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 有機化合物について理解し、その性質についても理解する。 【思考・判断・表現】 有機化合物について説明できるとともにそれらの製法について正しく説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 有機化合物に関する事象や現象について主体的に関わり、探究しようとする。	○	○	○	28
	定期考査			○	○		
3 学 期	K 高分子化合物 【知識及び技能】 高分子化合物について理解するとともに、その性質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 高分子化合物についてそれらの性質について説明できるとともにその実験室的製法等について順序だてて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 高分子化合物について興味をもち、主体的に学ぶことができる。	・指導事項 高分子化合物の性質 天然高分子化合物 合成高分子化合物 ・教材 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 高分子化合物について理解し、その性質についても理解する。 【思考・判断・表現】 高分子化合物について説明できるとともにそれらの製法について正しく説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 高分子化合物に関する事象や現象について主体的に関わり、探究しようとする。	○	○	○	19
	定期考査			○	○		
							合計
							140

東村山 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科： 理科 科目： 生物

教科： 理科 科目： 生物 単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年

教科担当者：（ 小糸 ）

使用教科書：（ 数研出版 新編 生物基礎 ）

教科 理科 の目標：		
【知識及び技能】	自然現象について、理解するとともに観察・実験技術を身に付ける。	
【思考力、判断力、表現力等】	自然現象について、特徴を見出して表現している。	
【学びに向かう力、人間性等】	自然現象の理解に主体的にかかわり、見通しを持ったり振り返りをするなど科学的に探究しようとしている。	
科目 生物 の目標：		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物の特徴、ヒトの体、生物の多様性と生態系について、理解するとともに観察実験技術を身に付ける。	生物の特徴、ヒトの体、生物の多様性と生態系について、特徴を見出して表現している。	生物の特徴、ヒトの体、生物の多様性と生態系について、主体的にかかわり、科学的に探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	生物の特徴 【知識及び技能】 生体物質や遺伝子発現を理解しているとともに、観察・実験などに関する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 生体物質について、観察・実験などを通して探究し、多様な生物が持つ共通の特徴を見出して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 生体物質や遺伝子発現に主体的にかかわり見通しと振り返りをし、科学的に探究しようとしている。	・指導事項 生体物質と細胞 生命現象を支えるタンパク質 代謝とエネルギー DNAの構造と複製 遺伝情報の発現 遺伝子の発現調節 バイオテクノロジー ・教材 教科書・副教材・授業プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 授業プリント・実験プリント。 知識問題等が正確にかけられている。 実験の手順等が正確に書かれている。 【思考・判断・表現】 授業プリント・実験プリント。 思考問題等が正確にかけられている。 実験の考察等が丁寧に書かれている。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物がしっかりと出されている。 授業に集中している。 考查ごとの振り返りにしっかり取り組んでいる。	○	○	○	48
	定期考査			○	○		
2 学 期	ヒトの体の特徴 【知識及び技能】 生物の反応について、神経系と内分泌系による調節、免疫を理解しているとともに、それらの観察・実験に関する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の反応について、観察・実験などを通して探究し、神経系と内分泌系による調節、及び免疫などの特徴を見出して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 生物の反応について主体的にかかわり、見通しを持った振り返りをするなど科学的に探究しようとしている。	・指導事項 多様な個体が生じる有性生殖 動物の発生 動物の発生のしくみ 植物の発生 動物の刺激と受容と反応 動物の行動 植物の環境応答 生態と環境 ・教材 教科書・副教材・授業プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 授業プリント・実験プリント。 知識問題等が正確にかけられている。 実験の手順等が正確に書かれている。 【思考・判断・表現】 授業プリント・実験プリント。 思考問題等が正確にかけられている。 実験の考察等が丁寧に書かれている。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物がしっかりと出されている。 授業に集中している。 考查ごとの振り返りにしっかり取り組んでいる。	○	○	○	52
	定期考査			○	○		
3 学 期	生物の多様性と生態系 【知識及び技能】 生物の進化について、植生と繊維生態系とその保全を理解しているとともに、それらの観察・実験に関する技能を身に付けている。また、生態系の保全の重要性について認識している。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の進化について、観察・実験などを通して探究し、生態系における、生物の多様性及び生物と環境との関係性を見出して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 生物の進化に主体的にかかわり、見通しを持った振り返りをするなど科学的に探究しようとしている。	・指導事項 生命の起源と生物の変遷 進化のしくみ 生物の系統 ・教材 教科書・副教材・授業プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 授業プリント・実験プリント。 知識問題等が正確にかけられている。 実験の手順等が正確に書かれている。 【思考・判断・表現】 授業プリント・実験プリント。 思考問題等が正確にかけられている。 実験の考察等が丁寧に書かれている。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物がしっかりと出されている。 授業に集中している。 考查ごとの振り返りにしっかり取り組んでいる。	○	○	○	40
	定期考査			○	○		
							合計
							140

東村山 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科： 理科 科目： 理科基礎

教科： 理科 科目： 理科基礎 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年

教科担当者：秋本

使用教科書：（ 数研出版 新編 生物基礎 ）

教科 理科 の目標：		
【知 識 及 び 技 能】	自然現象について、理解するとともに観察・実験技術を身に付ける。	
【思考力、判断力、表現力等】	自然現象について、特徴を見出して表現している。	
【学びに向かう力、人間性等】	自然現象の理解に主体的にかかわり、見通しを持ったり振り返りをするなど科学的に探究しようとしている。	
科目 理科基礎 の目標：		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物の特徴、ヒトの体、生物の多様性と生態系について、理解するとともに観察実験技術を身に付ける	生物の特徴、ヒトの体、生物の多様性と生態系について、特徴を見出して表現している	生物の特徴、ヒトの体、生物の多様性と生態系について、主体的にかかわり、科学的に探究しようとしている

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	生物の特徴 【知識及び技能】 生物の特特徴や遺伝子とその働きを理解しているとともに、それらの観察・実験などに関する技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の特徴について、観察・実験などを通して探究し、多様な生物が持つ共通の特徴を見出して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 生物の特徴に主体的にかかわり見通しを持ったり振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。	・指導事項 細胞の共通性 原核細胞と真核細胞 光合成・呼吸 酵素 DNAの構造 遺伝子のはたらき 遺伝子の発現 タンパク質 ・教材 教科書・副教材・授業プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 授業プリント・実験プリント。 知識問題等が正確にかけられている。 実験の手順等が正確に書かれている。 【思考・判断・表現】 授業プリント・実験プリント。 知識問題等が正確にかけられている。 実験の考察等が丁寧に書かれている。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物がしっかりと出されている。 授業に集中している。 検査ごとの振り返りにしっかりと取り組んでいる。	○	○	○	30
	定期考査			○	○		
2 学期	ヒトの体の特徴 【知識及び技能】 ヒトの体の調節について、神経系と内分泌系による調節、免疫を理解しているとともに、それらの観察・実験に関する技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ヒトの体の調節について、観察・実験などを通して探究しm神経系と内分泌系による調節、及び免疫などの特徴を見出して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ヒトの体の調節に主体的にかかわり、見通しを持った振り返りをするなど科学的に探究しようとしている。	・指導事項 自律神経系と内分泌系 体内環境の維持 自然免疫 獲得免疫 ・教材 教科書・副教材・授業プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 授業プリント・実験プリント。 知識問題等が正確にかけられている。 実験の手順等が正確に書かれている。 【思考・判断・表現】 授業プリント・実験プリント。 知識問題等が正確にかけられている。 実験の考察等が丁寧に書かれている。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物がしっかりと出されている。 授業に集中している。 検査ごとの振り返りにしっかりと取り組んでいる。	○	○	○	34
	定期考査			○	○		
3 学期	生物の多様性と生態系 【知識及び技能】 生物の多様性と生態系について、植生と繊維生態系とその保全を理解しているとともに、それらの観察・実験に関する技術を身に付けている。また、生態系の保全の重要性について認識している。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の多様性と生態系について、観察・実験などを通して探究し、生態系における、生物の多様性及び生物と環境との関係性を見出して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 生物の多様性と生態系に主体的にかかわり、見通しを持った振り返りをするなど科学的に探究しようとしている。	・指導事項 植生 バイオーム 遷移 生態系のバランスと保全 ・教材 教科書・副教材・授業プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 授業プリント・実験プリント。 知識問題等が正確にかけられている。 実験の手順等が正確に書かれている。 【思考・判断・表現】 授業プリント・実験プリント。 知識問題等が正確にかけられている。 実験の考察等が丁寧に書かれている。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物がしっかりと出されている。 授業に集中している。 検査ごとの振り返りにしっかりと取り組んでいる。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		
							合計
							70

東村山 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科： 保健体育 科目： 体育（男）

教科： 保健体育 科目： 体育（男） 単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者： 池田 貴・古畑 孝太郎・長坂 直己・田島 健吏・大西 強介

使用教科書：（ 新高等保健体育ノート ）

教科 保健体育 の目標：		
【知 識 及 び 技 能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。	
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自己や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	
科目 体育（男） の目標：		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	【前期】 体力テスト、テニス・ソフトボールから1つ選択 【後期】 バドミントン・バスケットボールから1つ選択 【知識・理解】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。こと。 水泳、体育理論 【前期】 バレーボール・ハンドボール、サッカー、卓球から1つ選択 【知識・理解】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。	・指導事項 基本技術の習得 ルールと試合の運営 安全な競技の実施 ・教材 ボール、ラケット、バット、グローブ、ベース、タイマー、ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。	○	○	○	40
	【主体的に学習に取り組む態度】 競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。こと。 【知識・理解】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。	・指導事項 基本技術の習得 ルールと試合の運営 安全な競技の実施 ・教材 ビート版、タイマー	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。	○	○	○	40
2 学期	【後期】 バレーボール・ハンドボール、サッカー、卓球から1つ選択 【知識・理解】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。	・指導事項 基本技術の習得 ルールと試合の運営 安全な競技の実施 ・教材 ボール、ラケット、タイマー ワークシート	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。	○	○	○	25
	【主体的に学習に取り組む態度】 競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。こと。						
3 学期							合計
							105

東村山 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科： 保健体育 科目： 体育（女）

教 科： 保健体育 科 目： 体育（女） 単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：池田 貴・長坂 直己・田島 健史・古畑 孝太郎・新堀 陽子

使用教科書：（ 新高等保健体育ノート ）

教科 保健体育 の目標：		
【 知 識 及 び 技 能 】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。	
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	
科目 体育（女） の目標：		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【前期】 体力テスト、テニス・ソフトボールから1つ選択 【後期】 バドミントン・バスケットボールから1つ選択 【知識・理解】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。	・指導事項 基本技術の習得 ルールと試合の運営 安全な競技の実施 ・教材 ボール、ラケット、バット、グローブ、ベース、タイマー、ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。	○	○	○	40
	水泳、体育理論 【知識・理解】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。	・指導事項 基本技術の習得 ルールと試合の運営 安全な競技の実施 ・教材 ビート版、タイマー	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。				
2 学 期	【前期】 バレーボール・ハンドボール、サッカー、卓球から1つ選択 【知識・理解】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。	・指導事項 基本技術の習得 ルールと試合の運営 安全な競技の実施 ・教材 ボール、ラケット、タイマー ワークシート	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。	○	○	○	40
	【後期】 バレーボール・ハンドボール、サッカー、卓球から1つ選択 【知識・理解】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。	・指導事項 基本技術の習得 ルールと試合の運営 安全な競技の実施 ・教材 ボール、ラケット、タイマー ワークシート	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。				
3 学 期	【主体的に学習に取り組む態度】 競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。		【主体的に学習に取り組む態度】 競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。	○	○	○	25
							合計
							105

東村山 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科： 保健体育 科目：スポーツⅡ

教科： 保健体育 科目： スポーツⅡ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：大西 強介・田島 健史・長坂 直己

使用教科書：（ 新高等保健体育ノート ）

教科 保健体育 の目標：		
【 知 識 及 び 技 能 】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。	
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自己や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	
科目 スポーツⅡ の目標：		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【前期】男子：バレーボール、サッカーから1つ選択 女子：バスケットボール 【後期】男子：バレーボール、サッカーから1つ選択 女子：バレーボール 【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。	・指導事項 基本技術の習得 ルールと試合の運営 安全な競技の実施 ・教材 ボール、タイマー、ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。	○	○	○	25
2 学 期	【前期】男子：バスケットボール 女子：サッカー 【後期】バドミントン、ハンドボールから1つ選択 【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。	・指導事項 基本技能の習得 ルールと試合の運営 安全な競技の実施 ・教材 ボール、ラケット、シャトル、タイマー、ワークシート	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。	○	○	○	35
3 学 期	【主体的に学習に取り組む態度】 競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。			○	○	○	10
							合計
							70

東村山 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科： 外国語 科目： キーボード演習

教科： 外国語 科目： キーボード演習 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者： ペロー

使用教科書： （ Tutti+音楽Ⅰ ）

教科 外国語 の目標：		
【知 識 及 び 技 能】	演奏をするための知識を身に付け、器楽の活動に取り組もうとしている。	
【思考力、判断力、表現力等】	音楽を演奏する上で必要な知識及び技能を、実技で表現できるための工夫ができている。	
【学びに向かう力、人間性等】	音楽の美しさや旋律の良さを味わい、主体的、協働的にキーボード演習の活動に取り組もうとしている。	
科目 キーボード演習 の目標：		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
音楽を演奏する上で必要な、楽譜に書かれている知識や歌唱技術、器楽の知識やその楽曲の時代背景を理解している。	音楽を演奏する上で必要な知識及び技能を、実技で表現できるための工夫ができている。	音楽の美しさや旋律の良さを味わい、主体的、協働的に歌唱や器楽、鑑賞の活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	保育士希望者のための器楽指導	保育士希望の生徒を対象に教科書内の楽曲を用いての、ピアノを中心とした器楽指導及びリトミックを個人レッスンの形で行う。		○			・意欲的に取り組んでいるか ・音楽を愛好する心を常に有しているか ・各学期ごとに練習の成果を発表会形式で行い、実技試験とする。	○	○	○	24
2 学 期	保育士希望者のための器楽指導	保育士希望の生徒を対象に教科書内の楽曲を用いての、ピアノを中心とした器楽指導及びリトミックを個人レッスンの形で行う。		○			・意欲的に取り組んでいるか ・音楽を愛好する心を常に有しているか ・各学期ごとに練習の成果を発表会形式で行い、実技試験とする。	○	○	○	40
3 学 期	保育士希望者のための器楽指導	保育士希望の生徒を対象に教科書内の楽曲を用いての、ピアノを中心とした器楽指導及びリトミックを個人レッスンの形で行う。		○			・意欲的に取り組んでいるか ・音楽を愛好する心を常に有しているか ・各学期ごとに練習の成果を発表会形式で行い、実技試験とする。	○	○	○	6
										合計	
										70	

東村山 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科： 芸術 科目： 美術Ⅲ

教 科： 芸術 科 目： 美術Ⅲ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1～6 組：小野）

使用教科書：（美術3 光村図書）

教科 芸術 の目標：		
【 知 識 及 び 技 能 】	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。○ 意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表わしている。	
【思考力、判断力、表現力等】	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	
【学びに向かう力、人間性等】	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。	
科目 美術Ⅲ の目標：		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。○ 意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表わしている。	○造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	○主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	記 時 数
			絵・形	デ	映						
1 学 期	【知識及び技能に関する目標】 視覚に関する錯覚の効果を理解し、不思議なイメージを捉えている。 【思考力、判断力、表現力等に関する目標】 錯視やイメージの重なりなどを基に、形や色彩を鑑賞する。 【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 不思議な世界を表す鑑賞活動に、主体的に取り組む。	○錯視、美術の様々な表現について				○	「知」視覚に関する錯覚の効果、質感や空間など造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 「鑑」錯視や不思議な世界の表現の効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 「態表」錯視やイメージの重なりなどを基に、不思議な世界を表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 「鑑鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい錯視や不思議な世界の特徴や美しさなどについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	【知識及び技能に関する目標】 デジタル機器による画像の加工方法による対象のイメージの変化について理解する。認識されやすい効果的な形や明度の違いを利用した色彩を使用し、表現したいイメージや意図に基づいて表す。 【思考力、判断力、表現力等に関する目標】 デジタル機器を利用した画像加工の技術を利用して、意図したイメージを顔の表情やポーズ、色彩の見やすさや美しさの調和を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 意図したイメージを顔の表情やポーズ、色彩の工夫により伝えたい内容を効果的に表す創造活動に、主体的に取り組む。	○人物顔写真からの色面構成				○	「知」形や色彩の性質やそれらが感情にもたらす効果、伝達の意図や目的に求められる造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解している。 「技」伝達の意図や目的に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を創意工夫して創造的に表している。 「発」伝達する内容や目的などから主題を生成し、見やすさや美しさの調和、統一感などを総合的に考え、表現の構想を練っている。 「鑑」見やすさや美しさの調和を感じ取り、作者の表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 「態表」イメージした意図や目的を人物の色面構成で表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 「鑑鑑」色面構成の人物像のよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	18
2 学 期	【知識及び技能に関する目標】 コラージュ、ドライポイント版画の特徴や効果、伝達したい情報やイメージなどを捉え、材料や用具などの特性を生かして表す。 【思考力、判断力、表現力等に関する目標】 表現したい思いや伝えたいものを基に、形や色彩などによる伝達効果を考え、コラージュ、ドライポントと版画の構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 伝えたい思いをコラージュ・ドライポイント版画として豊かに表す創造活動に、主体的に取り組む。	○コラージュ・ドライポイント版画の作成				○	【知】 形や色彩の性質及びそれらが人の感情にもたらす効果や版画の特徴を基に、全体のイメージでとらえることを理解している。 【技】 意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、コラージュ・ドライポイントの特性を生かし、見通しを持って創造的に表している。 【発・鑑】 版面の伝達効果や洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 伝えたいメッセージや場面などを基に主題を作成し、形や色彩、写真やイラスト、文字などによる伝達効果を考え、構想を練っている。版画の特徴や美しさを感じ取り、作者の意図と表現の工夫、効果などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 【態表】 主題を生み出し、版画の特徴を総合的に考え構想を練り、意図に応じて創造的に工夫し見通しを持って表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 【鑑鑑】 版画の特徴や美しさなどを感じとり、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	30
	【知識及び技能に関する目標】 陶芸の技法や粘土で制作する立体作品の特徴を理解する。それらの技法を使って効果的な形や特徴の違いを利用して意図に基づいた陶芸作品として表す。 【思考力、判断力、表現力等に関する目標】 陶芸作品の技法を利用して、作品の構想を練り、イメージを創意工夫し、使いやすさや立美しさの調和を考え、道具を選択し、構想を練ったり鑑賞して作品を制作する。 【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 意図したイメージを陶芸作品として制作する創造活動に、主体的に取り組む。	○日常で使える陶芸作品をデザインする				○	【知】陶芸作品の構想により生まれた形の性質やそれらの形がもたらす効果、造形的な特徴などを基に、陶芸の作品として制作する工程のイメージを捉えることを理解している。 「技」イメージを基に素材の特徴や用具の特性を生かし、表現方法を創意工夫して創造的に表している。 「発」使うことや美しさを意図したイメージから立体の形を生成し、使いやすさ、見やすさや美しさの調和、統一感などを総合的に考え、表現の構想を練っている。 「鑑」見やすさや美しさの調和を感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めている。 「態表」イメージした意図や目的を立体的陶芸作品として表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 「鑑鑑」陶芸作品のよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	20
											合計 70

東村山	高等学校	令和6年度（3学年用）	教科：芸術	科目：デザイン基礎
-----	------	-------------	-------	-----------

教 科： 芸術	科 目： デザイン基礎	単位数： 2 単位
対象学年組： 第 3 学年	1組～ 6組	
教科担当者： (1～6組：小野)		
使用教科書： (美術1 光村図書)		
教科 芸術 の目標：		
【知識及び技能】	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。○ 意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表わしている。	
【思考力、判断力、表現力等】	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	
【学びに向かう力、人間性等】	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。	
科目 デザイン基礎 の目標：		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ○意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表わしている。	○造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	○主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現		鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵・図	デ	映					
1 学 期	【知識及び技能に関する目標】 視覚に関する錯覚の効果を理解し、不思議なイメージを捉えている。 【思考力、判断力、表現力等に関する目標】 錯視やイメージの重なりなどを基に、形や色彩を鑑賞する。 【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 不思議な世界を表す鑑賞活動に、主体的に取り組む。	○錯視、美術の様々な表現について			○	「知」 視覚に関する錯覚の効果、質感や空間など造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 「鑑」 錯視や不思議な世界の表現の効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 「態表」 錯視やイメージの重なりなどを基に、不思議な世界を表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい錯視や不思議な世界の特徴や美しさなどについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。		○	○	2
	【知識及び技能に関する目標】 和紙を着色することで対象のイメージが変化について理解する。認識されやすい効果的な形や明度の違いを利用した色彩を使用し、表現したいイメージや意図に基づいて表す。 【思考力、判断力、表現力等に関する目標】 和紙の着色やコラージュの技術を利用して、意図したイメージを色彩の見やすさや美しさの調和を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 意図したイメージを色彩や形の工夫により伝えたい内容を効果的に表す創造活動に、主体的に取り組む。	○着色和紙コラージュ			○	「知」 形や色彩の性質やそれらが感情にもたらす効果、伝達の意図や目的に求められる造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解している。 「技」 伝達の意図や目的に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を創意工夫して創造的に表している。 「発」 伝達する内容や目的などから主題を生成し、見やすさや美しさの調和、統一感などを総合的に考え、表現の構想を練っている。 「鑑」 見やすさや美しさの調和を感じ取り、作者の表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 「態表」 イメージした意図や目的を和紙コラージュの構成で表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」 着色和紙コラージュのよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。		○	○	26
2 学 期	【知識及び技能に関する目標】 立体彫刻の特徴や効果、伝えたい情報やイメージなどを捉え、材料や用具などの特性を生かして表す。 【思考力、判断力、表現力等に関する目標】 表現したい思いや伝えたいものを基に、形や色彩、空間などによる表現効果を考え、立体・彫刻作品の構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 伝えたい思いを立体彫刻作品として豊かに表す創造活動に、主体的に取り組む。	○彫刻・立体作品の制作			○	【知】 形や色彩の性質及びそれらが人の感情にもたらす効果や彫刻・立体作品の特徴を基に、全体のイメージでとらえることを理解している。 【技】 意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、彫刻・立体作品の特性を生かし、見通しを持って創造的に表している。 【発・鑑】 彫刻・立体作品の特徴や美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 【思・表】 伝えたいメッセージや場面などを基に主題を作成し、形や色彩、空間による伝達効果を考え、構想を練っている。立体の特徴や美しさを感じ取り、作者の意図と表現の工夫、効果などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 【態表】 主題を生み出し、立体や彫刻作品の特徴を総合的に考え構想を練り、意図に応じて創造的に工夫し見通しを持って表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 【態鑑】 立体や彫刻の特徴や美しさなどを感じとり、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。		○	○	28
	【知識及び技能に関する目標】 消しゴムハンコの技法やそれらの構成で制作する平面作品の特徴を理解する。それらの技法を使って効果的な形や特徴の違いを利用して意図に基づいた平面作品として表す。 【思考力、判断力、表現力等に関する目標】 消しゴムハンコの技法を利用して、作品の構想を練り、イメージを創意工夫し、使いやすさや美しさの調和を考え、道具を選択し、構想を練ったり鑑賞して作品を制作する。 【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 意図したイメージを消しゴムハンコとして制作する創造活動に、主体的に取り組む。	○消しゴムハンコを利用した平面作品			○	「知」 消しゴムハンコの構想により生まれた形の性質やそれらの形がもたらす効果、造形的な特徴などを基に、ハンコの作品として制作する工程のイメージを捉えることを理解している。 「技」 イメージを基に素材の特徴や用具の特性を生かし、表現方法を創意工夫して創造的に表している。 「発」 使うことや美しさを意図したイメージからハンコの形を生成し、美しさの調和、統一感などを総合的に考え、表現の構想を練っている。 「鑑」 見やすさや美しさの調和を感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めている。 「態表」 イメージした意図や目的を立体的な陶芸作品として表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」 消しゴムハンコのよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。		○	○	14
										合計
										70

東村山 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅢ														
教科： 外国語		科 目： 英語コミュニケーションⅢ		単位数： 3 単位										
対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 6 組														
教科担当者： （1組～6組：篠原 会理、宮田 晴香、田制 久志）														
使用教科書： （ 数研出版 COMET English Communication Ⅲ ）														
教科 外国語 の目標：														
【知識及び技能】		音声や語彙・表現・文法・言語の働きなどを理解を深め、それらを使用し実際のコミュニケーションで適切に活用できる技能を身に付けるようにする												
【思考力、判断力、表現力等】		コミュニケーションを行う目的や場面・状況などに応じて、話し手や書き手の意図などを的確に理解しその情報を活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う												
【学びに向かう力、人間性等】		背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、主体的・に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う												
科目 英語コミュニケーションⅢ														
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】				【学びに向かう力、人間性等】								
日常的な英語のやり取りで使用される英語のきまりを理解し、話されたり書かれたりする文章等を聞いたり読んだりして、その内容を捉える技能や、気持ちなどを基本的な語句や文を用いて話したり書いたりして表現したり伝え合ったりするために必要な技能を身に付けている。		必要な情報を読み取り、話し手や書き手の意図を把握したり、概要や要点などを目的に応じて捉えることや、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話したり書いたりして表現したり伝え合ったりする力を身に付けている。				文章を聞いたり読んだりして、必要な情報や、話し手や書き手の意図を把握し、概要や要点などを目的に応じて捉えようとしている。また情報や気持ちなどを、論理性に注意して話したり書いたりして表現したり伝え合ったりしようとしている。さらにこれらの取組に関して見通しを立て、振り返るなど自らの学習を自覚的に捉えている。								
1 学 期	L.1 Festivals of the World L.2 Biomimetics 【知識及び技能】 本文の言語材料の用法に関する理解をもとに、教科書の文章を読み取る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。またそのことに対して、自分の意見を書いたり／話して伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。またそのことに対して、自分の意見を書いたり／話して伝え合ったりしようとしている。		・指導事項 帯活動 歌・単語テスト・1文英作文 パフォーマンステスト： 【題材内容】世界の祭り、バイオミメティクス 【言語材料】分詞・受け身 【言語活動】 自然から学んだ技術について、英語で書く／発表することができる。 ・教材 It's OK! /Active Listening 1/COMMETコメント英単語900/英単語学習ノート ・一人1台端末の活用 等				年間共通評価基準 ①（思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度） 授業中に生徒の言語活動への取り組み状況を観察する。 ②（知識・技能、思考・判断・表現） 本文の要約（各LessonのSummary）の音読やPair Talk, Fun Talk!あるいはActivityの各Stepへの取り組みを教員または生徒同士が評価する。				知	思	態	配 当 時 数
	定期考査						評価項目：取り組みの熱心さ、声の大きさ、発音の正確さなど							
	L.3 The Anchoring Effect L.4 Animal Welfare 【知識及び技能】 本文の言語材料の用法に関する理解をもとに、教科書の文章を読み取る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。またそのことに対して、自分の意見を書いたり／話して伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。またそのことに対して、自分の意見を書いたり／話して伝え合ったりしようとしている。		・指導事項 帯活動 歌・単語テスト・1文英作文 パフォーマンステスト： 【題材内容】アンカリング効果、アニマルウェルフェア 【言語材料】比較級・現在完了 【言語活動】 消費行動について、英語で書く／発表することができる。 ・教材 It's OK! /Active Listening 1/COMMETコメント英単語900/英単語学習ノート ・一人1台端末の活用 等				③（知識・技能、主体的に学習に取り組む態度） 本文の内容について読んだり、聞いたりしたことを理解しているかを筆記テストする。 評価項目：中間・期末考査／評価問題／補充文法問題／10分間テストなど							
	定期考査						④（思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度） 下記のテーマの説明に用いられる語句や文法事項及び表現を理解しているかを筆記テストする。							
	L.5 Working Styles L.6 Bobbi Gibb First Woman Runner in the Boston Marathon L.7 Virtual Water L.8 Dresden's Decision 【知識及び技能】 本文の言語材料の用法に関する理解をもとに、教科書の文章を読み取る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。またそのことに対して、自分の意見を書いたり／話して伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。またそのことに対して、自分の意見を書いたり／話して伝え合ったりしようとしている。		・指導事項 帯活動 歌・単語テスト・1文英作文 パフォーマンステスト： 【題材内容】メンバーシップ型雇用とジョブ型雇用、女性ランナーの挑戦、バーチャルウォーター、ドイツの都市ドレスデン 【言語材料】関係代名詞what/知覚動詞/仮定法 【言語活動】 将来の職業や働き方について、英語で書く／発表することができる。 ・教材 It's OK! /Active Listening 1/COMMETコメント英単語900/英単語学習ノート ・一人1台端末の活用 等				⑤（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度） 上記課題の内容や提出状況							
	定期考査													
	L.9 Resilience 【知識及び技能】 本文の言語材料の用法に関する理解をもとに、教科書の文章を読み取る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。またそのことに対して、自分の意見を書いたり／話して伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。またそのことに対して、自分の意見を書いたり／話して伝え合ったりしようとしている。		・指導事項 帯活動 歌・単語テスト・1文英作文 パフォーマンステスト： 【題材内容】レジリエンス 【言語材料】使役動詞 【言語活動】 落ち込んでいる人へのアドバイスについて英語で書く／発表することができる。 ・教材 It's OK! /Active Listening 1/COMMETコメント英単語900/英単語学習ノート ・一人1台端末の活用 等											
	定期考査													
2 学 期														
3 学 期														
												合計		
												105		

東村山 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科： 外国語 科目： 初級英語

教科： 外国語 科目： 初級英語 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組～6組：篠原 会理）

使用教科書：（正進社 英語の語順ドリルB00K1/Enrich Yourself! テストつち英語1/Oxford Reading Club）

教科 外国語 の目標：		
【知 識 及 び 技 能】	音声や語彙・表現・文法・言語の働きなどを理解を深め、それらを使用し実際のコミュニケーションで適切に活用できる技能を身に付けるようにする	
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面・状況などに応じて、話し手や書き手の意図などを的確に理解しその情報を活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う	
【学びに向かう力、人間性等】	背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、主体的・に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う	
科目 初級英語 の目標：		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
平易な英語で書かれた文章を読んだり、聞いたりして、5文型の英文構造を理解し、文章全体の内容理解を捉える技能や、気持ちなどを基本的な語句や文を用いて話したり書いたりして表現したり伝え合ったりするために必要な技能を身に付けている。	平易な英語で書かれたり、話されたりした文章から必要な情報を読み取り、話し手や書き手の意図や概要を把握して、要点や自分の考え・気持ちなどを話したり書いたりして表現したり伝え合ったりする力を身に付けている。	平易な英語で書かれたり、話されたりした文章から必要な情報を読み取り、話し手や書き手の意図や概要を把握して、要点や自分の考え・気持ちなどを話したり書いたりして表現したり伝え合ったりする力を身に付けようとしている。さらにこれらの取組に関して見通しを立て、振り返るなど自らの学習を自覚的に捉えている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話(発)	話(聴)	書					
1 学 期	・アルファベットや身の回りの単語 ・一般動詞（現在） ・一般動詞（現在：否定文と疑問文） ・一般動詞（過去）	・アルファベットや基礎的な英単語の意味を習得し、英語学習の基礎を身に付ける。 ・英語と日本語の語順の違いを理解し、英語での簡単な質問や会話ができる。 ・基本の時制や定型表現を理解することができる。 ・身近な出来事について振り返り、日記等を書くことができる。	○	○	○	○	○	（知識・技能） ペーパーテスト（定期テスト・小テスト等）を通し英文を作成するために必要な基礎知識を習得している。	○	○	○	28
			○	○	○	○	○	（思考・判断・表現） 提出物やグループワーク、ペアワークなどを活用し、簡単な日常会話等で実際に活用できる力を身に付けている。	○	○	○	
	定期考査		○	○			○	（主体的に学習に取り組む態度） 提出物やグループワーク、ペアワークなどを活用し、簡単な日常会話等で実際に活用できる力を身に付けようとしている。	○	○		
2 学 期	・一般動詞（過去：否定文と疑問文） ・be動詞（過去・現在） ・be動詞（現在・過去：疑問文と否定文） ・疑問詞（疑問文）	・文型や時制等の定型表現を理解することができる。 ・基本的な定型表現の意味を理解することができる。 ・自分の状態を説明したり、相手の状態を尋ねたりすることができる。 ・WhatやWhen、Where等の語句を用いて、自分が知りたいことを尋ねることができる。	○	○	○	○	○		○	○	○	32
			○	○	○	○	○		○	○	○	
	定期考査		○	○			○		○	○		
3 学 期	・助動詞（肯定文・否定文・疑問文） ・進行形（現在・過去） ・受動態（現在・過去）	・canやwill等の語句を用いて、自分ができると将来の予定等について表現することができる。 ・現時点で自分が行っていることや過去に行ったことについて表現することができる。 ・ある行為をする側、される側の立場になって、その状況について表現することができる。	○	○	○	○	○		○	○	○	10
			○	○	○	○	○		○	○		
	定期考査		○	○			○		○	○		
											合計	70

東村山 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科： 外国語 科目： 中級英語

教科： 外国語 科目： 中級英語 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組～6組：久保 希）

使用教科書：（正進社 英語の語順ドリルB00K2/Enrich Yourself! テストつち英語2/英語総合問題集UNITStage0）

教科 外国語 の目標：		
【知 識 及 び 技 能】	音声や語彙・表現・文法・言語の働きなどを理解を深め、それらを使用し実際のコミュニケーションで適切に活用できる技能を身に付けるようにする	
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面・状況などに応じて、話し手や書き手の意図などを的確に理解しその情報を活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う	
【学びに向かう力、人間性等】	背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、主体的・に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う	
科目 中級英語 の目標：		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活でよく活用される英語で書かれた文章を読んだり、聞いたりして、文章全体の内容理解を捉える技能や、気持ちなどを基本的な語句や文を用いて話したり書いたりして表現したり伝え合ったりするために必要な技能を身に付けている。	日常生活でよく活用される英語書かれたり、話されたりした文章から必要な情報を読み取り、話し手や書き手の意図や概要を把握して、要点や自分の考え・気持ちなどを話したり書いたりして表現したり伝え合ったりする力を身に付けている。	日常生活でよく活用される英語書かれたり、話されたりした文章から必要な情報を読み取り、話し手や書き手の意図や概要を把握して、要点や自分の考え・気持ちなどを話したり書いたりして表現したり伝え合ったりする力を身に付けようとしている。さらにこれらの取組に関して見通しを立て、振り返るなど自らの学習を自覚的に捉えている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話(発)	聴(受)	書					
1 学 期	中間まで ・文型 ・具体例を挙げるときの表現 ・時制(進行形含む) ・願望を述べるときの表現 期末まで ・助動詞 ・対比するものを述べるときの表現 ・受動態 ・説明するときの表現	中間まで ①所属・趣味・習慣・住んでいる場所について具体例を挙げながら説明より具体的に自己紹介する。②自分の意思を相手に丁寧に伝えながら身近な人を紹介する。 期末まで ①2つのことを比べながら説明する表現を使いながら、自分の学校について説明する。②相手が理解しにくい理由や意味やり方を説明する表現を使って、自分の学校について説明する。	○	○	○	○	○	(知識・技能) ・テスト(定期テスト・パフォーマンステスト・小テスト等)を通じて、実践的な英語能力を習得し、実際に活用できる技能を身に付けている。 (思考・判断・表現) ・パフォーマンステストだけでなく、提出物や相手とのやり取り等を通じて、事実や自分の考えを表現している。 (主体的に学習に取り組む態度) ・パフォーマンステストだけでなく、提出物や相手とのやり取り等を通じて、事実や自分の考えを表現しようとしている。	○	○	○	28
	定期考査		○	○			○		○	○		
	中間まで ・不定詞 ・申し出るときの表現 ・動名詞 ・情報を追加するときの表現 期末まで ・分詞 ・依頼するときの表現 ・関係代名詞 ・言い換えるときの表現	中間まで ①相手に自分の行動の許可を求める表現を使いながら、自分のおすすめの観光スポットを紹介する。②意見や伝えたい情報をさらに付け加える表現を使って、日本文化について具体的に説明する。 期末まで ①相手に質問や相談する表現を使いながら、いくつかの選択肢の中から選ぶ時のアドバイスを求める。②先に述べたことをより分かりやすい表現に言い換え、自分の尊敬する(好きな)人について紹介する。	○	○	○	○	○		○	○	○	32
	定期考査		○	○			○		○	○		
3 学 期	・関係副詞 ・強調するときの表現 ・仮定法 ・説明を補足するときの表現	①伝えたいことをより際立たせるための強調表現を使って高校生活で行った活動について説明する。②相手が理解できなかった事柄に対して補足説明する表現を使って、自分が関心のある社会問題について説明する。	○	○	○	○	○		○	○	○	10
	定期考査		○	○			○		○	○		
										合計		70

東村山 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科： 外国語 科目： 上級英語

教科： 外国語 科目： 上級英語 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者： （1組～6組：川上 雅弘）

使用教科書： （数研出版 新訂版徹底反復シリーズ 5-STAGE英文法完成BOOK3 /三省堂 思考力・発信力を鍛えるためのLogical English R

教科 外国語 の目標：		
【知識及び技能】	音声や語彙・表現・文法・言語の働きなどを理解を深め、それらを使用し実際のコミュニケーションで適切に活用できる技能を身に付けるようにする	
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面・状況などに応じて、話し手や書き手の意図などを的確に理解しその情報を活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う	
【学びに向かう力、人間性等】	背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、主体的・に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う	
科目 上級英語 の目標：		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
授業内の基本的なやり取りはもちろん、扱うテーマの内容に関しても英語でやり取りを行いながら、英語で書かれた文章を読んだり、聞いたりして、文章全体の内容理解を捉える技能や、気持ちなどを基本的な語句や文を用いて話したり書いたりして表現したり伝え合ったりするために必要な技能を身に付けている。	授業内の基本的なやり取りはもちろん、扱うテーマの内容に関しても英語でやり取りを行いながら、書かれたり、話されたりした文章から必要な情報を読み取り、話し手や書き手の意図や概要を把握して、要点や自分の考え・気持ちなどを話したり書いたりして表現したり伝え合ったりする力を身に付けている。	授業内の基本的なやり取りはもちろん、扱うテーマの内容に関しても英語でやり取りを行いながら、書かれたり、話されたりした文章から必要な情報を読み取り、話し手や書き手の意図や概要を把握して、要点や自分の考え・気持ちなどを話したり書いたりして表現したり伝え合ったりする力を身に付けようとしている。さらにこれらの取組に関して見通しを立て、振り返りなど自らの学習を自覚的に捉えている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話(発)	話(聴)	書					
1 学 期	中間まで ・時制・態 ・文の組み立て方 ・助動詞・不定詞・動名詞・分詞 ・文の組み立て方 期末まで ・仮定法・比較・疑問・否定 ・段落の展開の仕方 ・代名詞・関係詞・接続詞 ・段落の展開の仕方	中間まで ア) 英語の語順を徹底し直読(聴)直解で英語を理解する力を身に付ける。イ) さまざまな主語の立て方を理解し、自然な英語の表現を身に付ける。ウ) 動詞(含む代名詞)の使い方を理解し、情報の繰り返しを避ける表現方法を身に付ける。 期末まで ア) パラグラフの基本構成要素を理解することができる。その上で、英文の概要について、簡単な英語で説明することができる。またパラグラフの主題を意識して文章を理解し、簡単なパラグラフを自分で書くことができる。	○	○	○	○	○	(知識・技能) ・テスト(定期テスト・パフォーマンステスト・小テスト等)を通じて、実践的な英語能力を習得し、実際に活用できる技能を身に付けている。 (思考・判断・表現) ・パフォーマンステストだけでなく、提出物や相手とのやり取り等を通じて、事実や自分の考えを表現している。 (主体的に学習に取り組む態度) ・パフォーマンステストだけでなく、提出物や相手とのやり取り等を通じて、事実や自分の考えを表現しようとしている。	○	○	○	28
	定期考査		○	○			○		○	○		
	中間まで ・強調構文・動詞の語法 ・段落の展開の仕方 ・名詞・形容詞・副詞・前置詞の語法 ・スピーチ&プレゼンテーション 期末まで ・イディオム・会話表現 ・スピーチ&プレゼンテーション	中間まで ア) パラグラフに一貫性があることや展開の仕方を意識して文章を理解するし、簡単なパラグラフを自分で書くことができる。イ) スピーチのテーマに沿って、アウトラインを作成したうえで原稿を書き上げることができる。 期末まで ア) 作成した原稿に合う視覚資料を示し、聞き手に伝わるようにプレゼンテーションすることができる。イ) 自分のプレゼンテーションを振り返り、伝え方や内容をよりよくすることができる。	○	○	○	○	○		○	○	○	32
2 学 期	定期考査		○	○			○		○	○		
	中間まで ・ディベート&ディスカッション	ア) テーマに関する是非を具体例や理由を元に議論することができる。イ) これまで学んだことを総合的に使用しながら、テーマに沿った文章を作ることができる。また、その概要を英語で簡単に相手に伝えることができる。	○	○	○	○	○		○	○	○	10
	定期考査		○	○			○		○	○		
3 学 期												合計
												70

東村山 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科： 家庭 科目： 家庭総合

教科： 家庭 科目： 家庭総合 単位数： 2 単位
対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 6 組
教科担当者： （1 組～6 組前半組：川上璃子） （1 組～6 組前後組：高野 史子） （組： ） （組： ）
使用教科書： （実教出版 家庭総合）

教科 家庭 の目標：	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかわりについて理解させるとともに、生活に必要な知識と技術習得させ、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。		
【知 識 及 び 技 能】	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、理解しているとともに、それらにかかる技能を身につけている。		
【思考力、判断力、表現力等】	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題解決の力を身につけている。		
【学びに向かう力、人間性等】	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域と社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践している。		
科目 家庭総合 の目標：	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な理解を図る。		
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と、生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかわりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかる技能を身につけている。		生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	第7章 衣生活をつくる 1節 人と衣服のかかわり 人なぞ衣服を着るのか理解させる。 衣服が持つ機能や安全性について知識を身につける。 誰もが快適な生活を送るための要員を理解する。 2節 衣服の素材の種類と特徴 衣服素材の種類、繊維の種類と特徴、衣服素材の性能について理解し、用途に応じた素材の選択ができるようになる。 衣服の加工技術について理解する。 6節 衣服をつくろう ものがどのように構成されているのか知る。 基本的な裁縫技術を身につける。（2学期も継続）	季節ごとの着こなしについて考える。 衣服の起源や歴史、風土に適した衣服について知り、人はなぜ衣服を着るのか考える。 衣服が持つ機能や安全性などについて学ぶ。 快適な衣服の特徴や機能について考える。 暮らしの中での衣服素材の性能と改善について学ぶ。	衣服の文化や、自分の衣生活を取り巻く状況について関心を持ち、衣生活の向上・改善に積極的に取り組もうとする。（主） 衣服の素材の種類や特徴について、知識を身につけ、用途に応じてどんな衣服が適切に理解できる（知） 衣服の用途によって、適切な衣服素材を考え判断することができる（表・思） 基本的なミシン縫い・手縫いなどの縫製技術を身につけ、簡単な修繕ができる。 自分らしさを表現することができる。 実習において意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	14
	第6章 食生活をつくる 3節 栄養と食品のかかわり 栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的な知識を身につける。 4節 食品の選び方と安全 中節ごとに旬の食材があることを理解する。 表示の読み方を理解し、情報を正確に把握する。 食品を見分け、よりよい選択ができるようにする。 食中毒に対する予防法を理解する。 食品添加物について理解する。 5節 食事の計画と調理 衛生と安全に配慮して、調理することができるようになる。	自身の食事から食品ごとに含まれる栄養素を学び、バランスの良い食事について考える。 旬の食材を考え、旬の時期がなぜよいか学ぶ。 食品衛生（食品の選択、食中毒、食品添加物）について学ぶ。 食品の調理上の特性を知り、適切な調理を考える。 調理を通して、基礎的な技術を身につけ、食事マナーを実践する。	栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができる。 旬の食材には何があるか、なぜ旬の食材がよいのかを理解している。 食中毒の予防法や、食品添加物の特徴をとらえることで、安全な食品について理解している。 調理実習を通して、日常の食事づくりに必要な調理技術を身につけ、献立作成から後かたづけまでの一連の流れを計画し実践できる。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		
	第7章 衣生活をつくる 3節 衣服の選択から管理まで 衣服の表示にはどのような種類があるのか、なぜついているのかを理解し、購入から選択などの管理に役立てる。 洗剤・漂白剤・防虫剤などの種類について理解し、衣服の種類に応じた適切な選択や保管ができるようになる。 4節 持続可能な衣生活をつくる 私たちの衣生活が環境や世界とどのようにつながっているのかを理解する。 6節 衣服をつくろう ものがどのように構成されているのか知る。 基本的な裁縫技術を身につける。（2学期も継続）	環境に配慮した衣生活について、世界の動向を学び、自分たちができることを考える 現在の衣生活を取り巻く状況について、自分の衣生活を振り返りながら、課題を導き出すことができる。 基本的なミシン縫い・手縫いなどの縫製技術を身につけ、簡単な修繕ができる。 自分らしさを表現することができる。 実習において意欲的に取り組んでいる。	不要となった衣服について、リサイクルに回す、作り変えるなど、実生活において実践することができる。 現在の衣生活を取り巻く状況について、自分の衣生活を振り返りながら、課題を導き出すことができる。 基本的なミシン縫い・手縫いなどの縫製技術を身につけ、簡単な修繕ができる。 自分らしさを表現することができる。 実習において意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	15
2 学期	第6章 食生活をつくる 1節 人と食物のかかわり 食事の意義を理解する。 日本の食文化形成および和食の特徴を理解する。 2節 私たちの食生活 自身の食生活の現状把握と今後の課題を理解する。 健康で豊かな食生活を営むための気づきや工夫を理解する。 6節 これからの食生活を考える 情報に惑わされることなく安全な食品を選択できるようにする。	日本の食文化形成を知り、郷土料理について調べる。 食事調査を通して、各自の食生活の問題点に気づく。 環境に配慮した食生活（食品ロス等）について考える。	各地の気候風土や宗教による食生活の違いについて理解するとともに、日本の食文化の特徴について理解できる。 食事の意義や役割について、食文化や食生活をとりまく環境から理解できる。 現在の日本の食生活における課題を調査などから発見し、解決の方法について、自分の考えをまとめることができる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		
	第8章 住生活をつくる 【知識及び技能】 生活と住まいの機能とのかかわりについて考える。 住まいはどのような機能を持ち、人の生活がその機能とどうかわっているのか理解する。 ライフステージによる住まいの変化について考える。 【思考力、判断力、表現力など】 快適な住まい方を考え、平面計画を立てる。	・生活と住まいとの機能とのかかわりについて考え、人の生活がその機能とどうかわっているか、理解する。 ・ライフステージや住まう人の住欲求によって、平面計画が変化することを理解する。 ・住まいの生活空間の機能を理解し、空間の特徴や家族のイメージをすることができるようになる。	【知識・技能】 住居の機能や気候・風土とのかかわりに関心を持ち、各地の気候・風土に適した住まいを理解している。 【思考力、判断力、表現力】 ライフステージと住空間の設計の関係、住宅政策や住環境との関係について考えを深めることができる。 【自ら学びに向かう能力】 住まいの文化や機能、住空間の計画や住環境について関心を持ち、快適な住まいづくり、よりよい住生活の想像に向けて意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		
							合計
							70

東村山 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科： 家庭 科目： 保育基礎

教科： 家庭 科目： 保育基礎 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（選択：高野史子 ）

使用教科書：（ 教育図書 保育基礎 ）

教科 家庭 の目標：	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解させるとともに、生活に必要な知識と技術習得させ、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。	
【知識及び技能】	・子どもの発達や生活の特徴、保育、福祉や文化などについての知識を体系的・系統的に身につけている。 ・子どもの発達の特性や発達過程に対応した技術を身につけている。	
【思考力、判断力、表現力等】	・子どもを取り巻く課題を見つけ、保育を担う職業人の視点から合理的かつ創造的に解決するために、思考を深め、適切な判断や工夫、表現をする力を身につけている。	
【学びに向かう力、人間性等】	・子どもの発達や保育にかかわる職業について関心をもち、地域の保育や子育て支援を通じて子どもの健やかな発達に寄与しようとする意欲的な態度を身につけている。	
科目 保育基礎 の目標：	家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、保育を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 保育の意義や方法、子どもの発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて体系的・系統的に理解させるとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 子どもを取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3) 子どもの健やかな発達を目指して学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・子どもの発達や生活の特徴、保育、福祉や文化などについての知識を体系的・系統的に身につけている。 ・子どもの発達の特性や発達過程に対応した技術を身につけている。	・子どもを取り巻く課題を見つけ、保育を担う職業人の視点から合理的かつ創造的に解決するために、思考を深め、適切な判断や工夫、表現をする力を身につけている。	・子どもの発達や保育にかかわる職業について関心をもち、地域の保育や子育て支援を通じて子どもの健やかな発達に寄与しようとする意欲的な態度を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・子どもにかかわる職業にはどのようなものがあるか、また、その意義を知る。 ・自分が将来どのような形で子どもにかかわりたいか考える。 ・保育には、子どもの生涯の人格形成の基礎を培う重要な意義があることを理解する。 ・保育者のあるべき姿とはどのようなものかを考える。 ・家庭及び幼稚園、保育所や認定こども園について、それぞれの養育・保育環境の特徴や役割を理解する。 ・現代の子どもや子育て家庭を取り巻く環境の問題、多様な保育のニーズに関する課題を知り、子どもの健やかな発達のための適切な保育環境について考える。 ・子どもの成長には、子どもを受け止め理解してくれる大人の存在が不可欠であることを知る。 ・保育所保育指針や幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領について調べ、子どもの発達における保育・教育の目的や目標について理解する。 ・発達過程の特徴と、段階に応じた保育の方法を理解する。 ・子どもの健やかな発達のために、保育者として適切な保育環境をどのように創意工夫してつづきか考える。 ・子どもの心身の状態や発達に応じた保育の方法とその環境について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。	子どもにかかわる職業を知る 保育の意義 保育の環境 保育の方法 保育の課題に取り組もう	・さまざまな職業が子どもや保育に直接的・間接的にかかわっており、子どもの健やかな発達に寄与していることを理解している。 ・自分の将来における子どもへのかかわりについて、職業や、かかわる内容などを具体的に考えられる。 ・子どもにかかわる職業について関心をもち、自身が希望する職業に就くために必要なことを調べるなど、情報を収集・整理しようとしている。 ・子どもの人格形成における保育の重要性を理解している。 ・保育における保護者や保育者の役割を理解している。 ・子どもの保育の特徴や、保育者に求められる姿勢などについて要点をまとめることができる。 ・保育の意義について、自分自身が親や保育者になることを考えるなど、自分の人生観と結びつけて考えようという姿勢が見られる。 ・家庭での養育と集団保育の役割を理解している。 ・家庭での子育ての現状と課題、国の子育て支援の内容などについて理解している。 ・保育所や幼稚園、認定こども園における保育・教育の特徴を理解している。 ・現在の子育て家庭が集団保育に求めていることについて、子育て環境の変化などと関連させながら具体的に考察することができる。 ・身近な保育・教育施設について関心をもち、ホームページからその特色を調べると自ら情報を収集しようとしている。 ・保育の目標と、保育者から子どもへのはたらきかけの重要性を理解している。 ・月齢・年齢に応じた保育者の適切なかかわり方を理解している。 ・保育所保育指針などが目標とする子どもの育ちを支えるために、保育者としてどのようなことが大切か、自分の考えをもち、話し合うことができる。 ・月齢・年齢に応じた適切なかかわり方として、具体的な声かけなどの内容を考えられる。 ・家庭での養育の課題を考察しながら、子どもの心身の安定を図るために、保育者としての月齢・年齢に応じた適切なかかわり方を具体的に考え、意見をまとめたり発表したりすることができる。 ・自身が保育者になることを想像しながら、子どもにとって適切な保育を行うためにかかわり方を工夫するなど、積極的に取り組む姿勢が見られる。	○	○	○	14
	・ライフステージにおける乳幼児期の位置づけを確認し、生涯発達のために乳幼児期が大切であることを理解する。 ・発達には順序性・連続性・方向性・相互性という一定の共通性がある一方で、個人差が大きいことを理解する。 ・子どもが主体的に環境にはたらきかけ、発達していくために、保育者などが応答的にかかわることが大切であることを理解する。 ・乳幼児期の発育について、各部位別の目安や評価法を知る。また、大人などと比較して、乳幼児期の発育の特性を理解する。 ・乳幼児期の生理的特徴について理解する。 ・乳児期・幼児期における感覚・運動機能、情緒、認知機能、言語、社会性の発達の特性について理解する。 ・子どもと大人ではもののとらえ方に違いがあることを知る。 ・愛着関係の形成過程を学び、その重要性を理解する。 ・安全基地としての親の重要性について理解する。また、家族・きょうだい・友だちなどの対人関係と社会性の発達について考える。 ・乳幼児期の子どもの健全な心身の発達について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。 ・子どもの発達の個人差に配慮しながら、心身の発達を促すために保育者としてどのように接するといふかを考える。	子どもの発達の特性 子どもの発育と発達 保育の課題に取り組もう	・子どもの発達の共通性・個性性について理解している。 ・子どもの発達は、身体が発育と心や身体の機能の発達が相互に関連してなされていくことを理解している。 ・子どもの心身の発達のために、保育の環境が重要であることを理解している。 ・母子健康手帳などの資料を見ながら、発達の各側面が相互に関連し合っていることを読み取り、具体的に考察することができる。 ・乳幼児の発育や生理的特徴が大人とは大きく異なることを理解している。 ・発達の各側面における過程を理解している。 ・発達の過程で子どもができるようになることを、月齢や年齢に応じて挙げることができる。 ・情緒や社会性といった心の発達に関して、親や保育者との愛着形成が重要であることを理解している。 ・地域の保育施設の子どものふれ合いや、保護者へのインタビューを通して、子どもの発達や保育者のかかわりの特徴を具体的にまとめたり、発表したりすることができる。 ・月齢・年齢ごとの子どもの心身の発達の様子を理解した上で、子どもの個人差を考慮した適切なかかわり方を考察し、具体的に提案することができる。 ・自身が保育者になることを想像しながら、子どもの心身の発達を促し、子どもの気持ちに寄り添うにはどうかかわるべきかなど、主体的に捉えようとしている。	○	○	○	
				○	○	○	

1 学 期	・保育所保育指針などを取り上げながら養護の必要性・目的を理解し、発達段階に応じた適切な養護の方法を知る。 ・子どもを安全に養護するためのポイントや、注意点について知る。 ・基本的な生活習慣と社会的な生活習慣の違いを理解し、その具体的な内容について知る。 ・生活習慣を題材にした絵本などから、生活習慣の習得を促すにはどのような工夫が必要かを考える。	子どもの健康と生活	・子どもの日常生活における世話の仕方とその役割について理解している。 ・子どもの養護の必要性について理解し、その発達段階に応じた適切な養護や生活援助のための技術を身につけている。 ・生活習慣を題材にした絵本を選ぶ活動などを通じ、生活習慣の習得を促すための、保育者としての具体的ななかまわり方などを考察し、工夫することができる。	○		○	
	定期考査			○	○		1
2 学 期	・子どもの健康を守るための保育者の役割を理解し、健康状態の観察方法を知る。 ・子ども特有の病気について知り、予防接種の大切さを理解する。また、病気の際に落ち着いて対処するための知識を得る。 ・子どもの健康を守るために、社会がどのようなサポートを行っているかを知る。 ・住まいに潜む危険について理解し、家庭や保育施設など身近な場所の危険についても考えることができる。 ・発達障がいや医療的ケアをはじめとする、子どもの健康課題について、SDGsと関連させながら理解する。 ・子どもの健康と安全について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。 ・保育施設で起こりうる危険について理解し、保育者として子どもの健康・安全を守るために具体的にどのような対策を取るべきかを考える。	子どもの健康と安全	・子どもの健康が免疫力や衛生環境など多様な要因から影響を受けやすく、健康を守る上での保育者の役割が重要であることを理解している。 ・子どもの病気の特徴を知り、適切な看護の方法を理解している。 ・予防接種をはじめとする子どもの病気の予防方法について理解している。 ・家庭など、子どもの生活のなかで起こりうる事故の特徴を知り、適切な応急処置の方法を理解している。 ・子どもの目標を体験する活動などを通して、家庭や保育施設における安全性についての課題を見出し、子どもを危険から守るための具体的な方法を考察することができる。 ・SDGsの目標3の観点から、現代の子どもの健康課題について考察し、自分に何ができるかなど、考えをまとめて発表したりすることができる。	○		○	18
	・子どもが保護・養育される権利をもち、尊重されるべき存在であると認識されるまでの歴史を知る。 ・日本の児童観の変遷と、社会環境や法制度のしくみについて理解する。 ・子どもの福祉の理念について理解し、歴史的な経緯を知る。 ・児童福祉法や児童福祉関連施設の概要とその役割について理解する。	保育に見る児童観	・世界・日本の児童観や子どもの福祉の変遷の歴史が、現代のさまざまな法律や制度に生かされていることを理解している。 ・児童福祉の理念と特徴、法律や制度、福祉にかかわる施設の役割について理解している。 ・児童虐待や貧困など、具体的な問題を通じて子どもの福祉の必要性を考察し、自分の考えをまとめて発表したりすることができる。	○		○	
	・子どもの福祉について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。 ・障がいの有無や貧困・虐待、国籍の違いなど、多様な事情・背景をもつ家庭や子どもたちが十分な保育サービスを受けるために必要な施策を考える。	保育の課題に取り組もう	・すべての子どもが充実した保育を受けられるように、保育者としてできることを、個々の家庭の事情などにも配慮しながら具体的に考え、提案することができる。			○	
	・子どもの文化やそれを支える場が、子どもの健康で豊かな生活の実現のために果たす役割や意義を理解する。 ・近年の少子化、高度情報化の影響で、子どもや子ども文化を取り巻く環境に変化が起きていることを知り、それに伴う課題を理解する。	子どもの文化の意義	・子どもの文化やそれを支える場の役割や意義を理解している。 ・子どもの文化の現状を捉え、今後の課題について考察することができる。	○		○	18
3 学 期	定期考査			○	○		1
	・子どもの遊びについての課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。 ・保育の学習を通じて自分自身の子どもや保育に関する考えがどう変わったか振り返り、成長を実感する。	目的に合った遊びを考えよう 保育の学習を振り返ろう	・月齢・年齢ごとの子どもの遊びの特徴を理解した上で、心身の発達を促すために、適切な遊びを企画し、発表することができる。 ・自身が保育者になることを想像しながら、子どもたちが楽しめるように積極的に取り組もうとしている。 ・保育施設で行われている遊びに関心をもち、自分で情報を収集しようとしている。 ・これまで学習してきた内容を振り返り、保育にかかわる内容をまとめることができる。 ・子どもや保育について、学習前後の自身の考えの変化などをまとめることができる。 ・各章で提示されたSDGsの目標を達成するために、自分自身や社会はどのようなことができるか、話し合ったり、発表したりすることができる。 ・これまで学習してきた内容を踏まえ、将来自分がどのような形で子どもにかかわっていくかをイメージしようとしている。		○	○	3
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

東村山 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科： 家庭 科目： フードデザイン

教 科： 家庭 科 目： フードデザイン 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（選択：川上璃子） （ 組： ） （ 組： ）

使用教科書：（ 実教出版 フードデザイン ）

教科 家庭 の目標：	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかわりについて理解させるとともに、生活に必要な知識と技術習得させ、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。	
【知 識 及 び 技 能】	・栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解する。 ・栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関連する技術を身に付ける。	
【思考力、判断力、表現力等】	・食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付ける。	
【学びに向かう力、人間性等】	・食生活の充実向上を目指して自ら学び、食生活の総合的なデザインと食育の推進に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	
科目 フードデザイン の目標：	(1) 栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3) 食生活の充実向上を目指して自ら学び、食生活も総合的なデザインと食育の推進に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解している。 ・栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関連する技術を身に付けている。	・食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	・食生活の充実向上を目指して自ら学び、食生活の総合的なデザインと食育の推進に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1節 調理とおいしさ おいしさに関わる要因について知り、実験や実習を通して食に対する興味を深められるようにする。 2節 調理操作 調理器具や調理操作について知り、多様な調理を行うことができるようになる。	何のために調理するのかを理解する。 おいしさに関わる条件を知り、調理にいかせるようにする。 計量の方法、食品の切り方、調理方法の基礎、加熱調理器具ごとの特徴などについて、具体的な知識と技術を身に付ける。 調味に関する基本的な知識を習得する。	調理の目的について、安全性、栄養、嗜好、心身の健康などの面から関心を持ち、学ぶうとする意欲がみられる。 食物のおいしさは、味・におい・色・テクスチャー・温度などと関わっており、調味、加熱やその他の調理操作が料理のできあがりにも与える影響について思考を深めることができる。 調味、加熱やその他の調理操作が、料理のできあがりにも大きく影響することを実験を通して観察し、考察することができる。	○	○		10
	4節 食品の衛生と安全 食中毒や衛生についての知識を深め、衛生と安全に配慮した調理ができるようになる。	食中毒の種類、食中毒と食品衛生について学び、衛生と安全に配慮した調理をするためにはどうしたらよいかを考える。 食品添加物の定義や種類について理解する。	食品の衛生と安全に関する基本的な知識を身に付けている。 調理を前提として、よりよい食品を見きわめ、購入することができる。 食品を衛生的に取り扱うことができる。	○	○		4
	調理実習 基本的な調理操作を学び、班員と協力しながら実習をすることができる。	基本的な「和食」、「洋食」、「中華」料理を作る。	班員と協力し、時間内に終わらせることができる。 調理手順を理解し、スムーズに実習を行うためにはどのように行動したらよいかを考えている。		○	○	14
	定期考査			○	○		
2 学 期	1節 料理様式と献立 日本料理、西洋料理、中国料理のテーブルマナーを学び、自国と他国の文化についての興味・関心を深められるようになる。 2節 テーブルコーディネート 和風、洋風、中国風のテーブルコーディネートについて知り、実生活で活かせるようになる。	日本料理、西洋料理、中国料理等それぞれの様式に応じた食卓構成と作法について理解する。 日本料理の献立の違いを知り、手順やサービス、マナーについて理解する。 西洋料理の形式による違いを知り、手順やサービス、マナーについて理解する。 地域によって異なる中国料理の特徴を知り、サービスやマナーについて理解する。 和風・洋風・中国風ごとのテーブルコーディネートの特徴を知り、状況に応じたコーディネートについて考えさせたり、実際にコーディネートを実践する。	日本料理、西洋料理、中国料理など代表的な料理様式について、それぞれの特徴に関心を持つようとしている。 食路や行事、食事の目的などに応じて食卓を演出しようとする意欲・関心が感じられる。 食器・盛りつけ・テーブルクロス・照明などについて、目的に応じた適切な選択ができる。 様式別の食卓構成や食卓作法、供応に伴うマナーを身につけることができる。 食器・盛りつけ・テーブルクロス・照明などについて適切な取り扱いができる。 目的に応じたテーブルコーディネートができる。	○	○		6
	調理実習 基本的な調理操作や応用的な調理操作を学び、班員と協力しながら実習をすることができる。	基本的な「和食」、「洋食」、「中華」料理、「製菓」など、応用的な要素を持った調理をする。	班員と協力し、時間内に終わらせることができる。 調理手順を理解し、スムーズに実習を行うためにはどのように行動したらよいかを考えている。		○	○	20
	定期考査			○	○		
	1節 献立作成 場面や状況に応じた献立作成をすることができる。 調理実習 基本的な調理操作を学び、班員と協力しながら実習をすることができる。	栄養バランス、年齢、性、目的を考慮した食事の献立について、要点が理解でき、日常食、行事食など用途に適した献立を作成する。 和風、洋風、中国風等の料理を引き立てるようなテーブルセッティングをする。 決められた設定の中で、献立作成、調理をする。	食事のテーマにふさわしい献立や食卓の整え方、周囲の環境づくりを行おうとしている。 食事のテーマに応じた献立作成、食品材料の選択と調理など、一連の流れを計画し実践ができる。 班員と協力し、時間内に終わらせることができる。 調理手順を理解し、スムーズに実習を行うためにはどのように行動したらよいかを考えている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		
							合計
							70

東村山 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科： 情報 科目： 情報リテラシー

教科： 情報 科目： 情報リテラシー 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（中村）

使用教科書：（新編 情報Ⅰ（東京書籍））

教科 情報 の目標：		
【知識及び技能】	情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。	
【思考力、判断力、表現力等】	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	
【学びに向かう力、人間性等】	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。	
科目 情報リテラシー の目標：		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	情報Ⅰの復習 コンピュータの基本操作 文書処理ソフトウェアの操作 入力の基本 文書作成	1. Windowsの基本操作 2. ホームポジション 3. 入力の基本練習 4. 校正記号の種類 5. 表の挿入 6. 切り取り線の挿入 7. 段組みの挿入 8. 速度問題 9. 文書問題	【知識・技能】 ○機器の基本的な操作を理解し応用が行える。 【思考・判断・表現】 ○問題の意味を理解し、形に表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○機器操作を積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	29
2 学期	表計算ソフトの操作 表・グラフの作成	1. 初級基本問題 2. 初級練習問題 3. 中級基本問題 4. 中級練習問題	【知識・技能】 ○機器の基本的な操作を理解し応用が行える。 【思考・判断・表現】 ○問題の意味を理解し、形に表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○機器操作を積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	31
3 学期	プレゼンテーション プレゼンテーションソフトウェアの操作	1. 基本問題 2. 複合問題 3. 確認問題	【知識・技能】 ○機器の基本的な操作を理解し応用が行える。 【思考・判断・表現】 ○問題の意味を理解し、形に表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○機器操作を積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
							合計 70